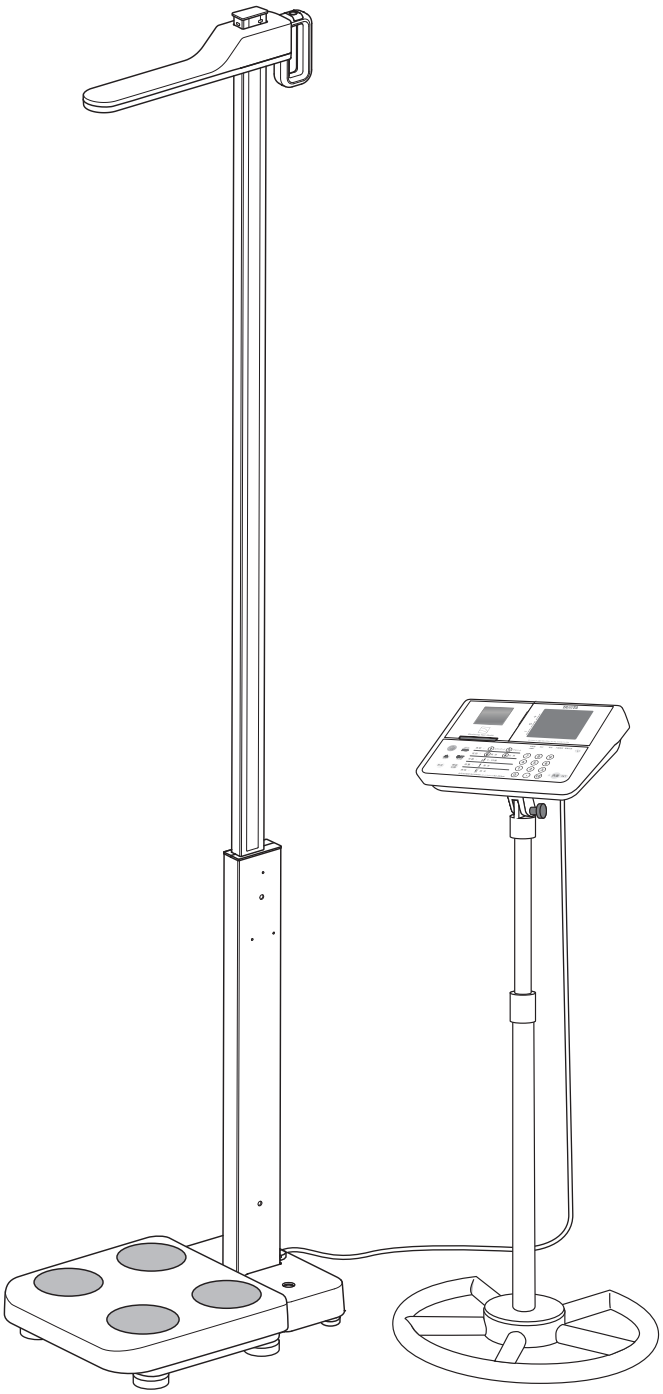
TANITA

型式承認取得品

取扱説明書

手動身長計付き体組成計
BH-300A-N



コントローラー用スタンドはオプション（別売）です。

もくじ

ご使用まえに

本機について……2
安全上のご注意……3
お願い……5
各部の名称と付属品……8
設置と接続……10
プリンター用紙のセット……12
SDメモリーカードのセット……13
設定……14

使いかた

身長体組成計として使う……22
成人簡易測定モード……26
身長体重計として使う……30
体重計として使う……33

必要なとき

データ出力／データ保存……35
パソコンと接続するとき……36
故障かな？……37
重力補正について……40
仕様……41

お願い

誤った使いかたをしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。また、必要なときにはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

本書に記載されているイラストはイメージ図です。

本機について

このたびは、「手動身長計付き体組成計BH-300A-N」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

体組成測定

デュアル周波数測定方式を採用し、さらにリアクタンス測定機能を搭載しています。この最新テクノロジーにより、細胞レベルの変化、個人差を反映した分析が可能になり、体脂肪率、筋肉量、体水分量などの体組成を、より高精度に算出できるようになりました。

身長測定

ドットコード読み取り方式を搭載しています。相対的に長さをはかっていた従来のエンコーダー方式から、位置を読み取る方式にすることで「絶対値」をはかることが可能になりました。

安全上のご注意

本書では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本機を正しくお使いください。

⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。
禁止 してはいけない「禁止」内容です。	必ず守る 「必ず守っていただく強制」内容です。
お願い	本機を最良の状態で保つために守っていただきたい内容です。
お知らせ	本機の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。

⚠ 警告

禁止

ペースメーカーなど、医用電気機器を装着した方には絶対使用しない
本機は、微弱な電流を体内に流しますので、医用電気機器が誤動作し、重大な事故が発生するおそれがあります。

タイル面やぬれた床など、すべりやすい場所には絶対に置かない
転倒したり、すべって大けがをするおそれがあります。また、本機内部に水が入り、故障するおそれがあります。

端に乗ったり、飛び乗るなど強い力や衝撃を与えない
転倒したり、すべって大けがをするおそれがあります。また、本機が破損するおそれがあります。

支柱に強い力をかけない
転倒するおそれがあります。

分解や改造は絶対にしない
感電やけがのおそれがあります。また、精度の保証ができません。

ぬれた手でACアダプターやプラグを抜き差ししない
感電や火災、漏電のおそれがあります。

電源コードを外した直後は電源プラグに触れない
感電のおそれがあります。

タコ足配線をしない
火災のおそれがあります。

隙間や穴、コネクター差し込み口などに、指や無関係なものを入れない
けがや感電のおそれがあります。また、誤作動や故障のおそれがあります。

測定結果の評価や、それに基づく運動メニューなどは、自己判断しない
必ず資格を持った専門家の指示に従ってください。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

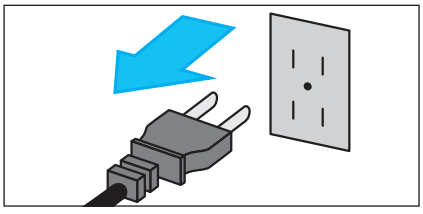
禁止	**付属のACアダプター以外使用しない** 誤作動や故障のおそれがあります。
	水回りなど本機がぬれるおそれのある場所では使用しない 故障するおそれがあります。
	金属（ステンレス）アレルギーのある方には使用しない 本機は、足電極にステンレス鋼を使用しているためアレルギー反応がでるおそれがあります。
	手足などの本機に直接触れる部位に傷や炎症がある方には使用しない 交差感染のおそれがあります。
	本機で計測中は他の機器での測定は行わない（体組成の測定中に血圧計で測定する、など） 不正確な測定、けがや事故のおそれがあります。
	持ち運ぶ際はカーソルなどの可動部や付属部は持たない 不意な動作によってけがをしたり、本機が破損、故障するおそれがあります。

必ず守る	**安定した、水平な場所に設置する** 転倒してけがをしたり、測定できない場合があります。
	段差や角に気を付ける 測定台につまずいたり、ぶつかってけがをするおそれがあります。
	からだの不自由な方がご使用になるときは、付き添いの方がサポートする 転倒してけがをしたり、測定できない場合があります。
	測定の前に、電極とその周辺部を消毒用アルコールで拭く 素足で測定しますので、交差感染のおそれがあります。
	電波障害を受けやすい電子機器などは本機からの電波障害がないことを確認して使用する 本機はクラスB情報技術装置（主に家庭環境で使用されることを意図した装置）の基準に対応していますが、電波障害を受けやすい電子機器などの場合は影響を受けるおそれがあります。

緊 急 停 止

緊急時に備え、本機操作の間はコンセントの周りに物を置かないでください。

緊急時は電源プラグを引き抜いてください。



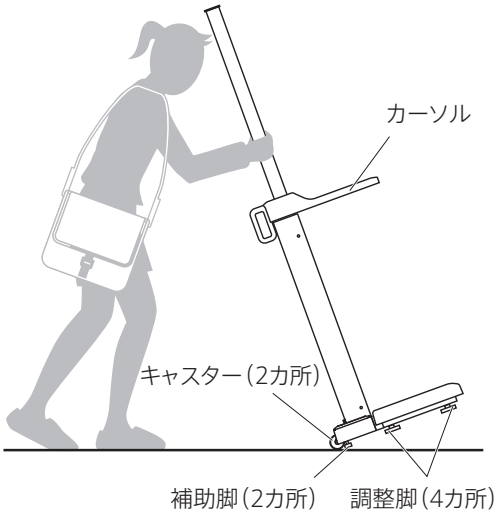
お願い

持ち運びについて

・身長計の支柱を縮め、支柱ロックねじを取り付ける
・カーソルを下限までスライドする
・測定台からすべてのケーブルを外す
・身長計下部の補助脚を収納する
・支柱ロックねじが取り付けられていることを確認する
・支柱を持って調整脚が浮くまでかたむけ、キャスターで移動する
・コントローラーやケーブルは付属の収納バッグに入れて持ち運ぶ

⚠注意

・持ち上げようとすると、腰を痛めるおそれがあります。必ずキャスターを使用して移動してください。
・支柱の隙間や穴に指を入れないでください。けがをするおそれがあります。
・移動時に衝撃を与えないように丁寧に扱い、物などは載せないでください。



正確にはかるために

禁止

激しい運動をした後は、測定を避ける
測定値に誤差が生じるおそれがあります。体調が良くなってから、測定してください。

温度変化の激しい場所では測定しない
測定値に誤差が生じるおそれがあります。20℃以上の温度差のある場所に移動するような場合は、2時間以上放置してからご使用ください。

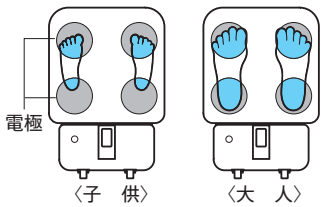
過度の飲食、極度の脱水症状のときは、測定を避ける
体内の水分量の変化や体温に大きく影響されるので、測定前に排尿をするなど毎日同じ時間・条件で測定してください。

電磁波を発生する機器の近くでは使用しない
照明器具・医療用機器・通信機器（インバーター蛍光灯・マイクロ波治療器・携帯電話）などの一部の機器とは干渉して誤動作するおそれがありますので、事前に確認のうえご使用ください。

必ず守る

変化の推移を見る場合は、できるだけ同じ条件で測定する
測定値に誤差が生じるおそれがあります。測定精度を上げるには、起床後3時間以上、食後3時間以上経過した同じ時間帯でご使用ください。

素足になり、測定台電極に正しく合わせて測定する
体脂肪率が低く表示されたり、測定エラー表示になる場合があります。
電極への足の合わせ位置は右図の通り、かかと側電極と、つま先側電極に同じくらいかかるように合わせてください。



足の裏のゴミやホコリは、落としてから測定する
体脂肪率が低く表示されたり、測定エラー表示になる場合があります。

足の内側（内もも）が触れないようにする
体脂肪率が低く表示されたり、測定エラー表示になる場合があります。裸に近い状態でも接触する場合は、乾いたタオルなどをはさんで測定してください。

次のような方は、参考値として変化の推移をみられることをおすすめします。
人工透析中の方、むくみの症状がある方、体内に金属を埋め込んでいる方、妊娠中の方

精度を保つために

本機は、精密に作られています。最良の状態に保つために、次のことを守ってご使用ください。

設置について

必ず守る

・直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、または空調機の風が直接当たる場所には置かない
・温度変化の激しい場所には置かない
・湿気の多い場所や水気のある場所には置かない
・振動の激しい場所には置かない
・化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に放置しない
・塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生じるおそれのある場所には置かない
・電源の周波数と電圧および許容電流値（または消費電力）に注意すること
・高酸素濃度、可燃性麻酔ガス内には置かない

測定について

必ず守る

・じゅうたんや、畳の上では測定しない
・振動の激しい場所では測定しない
・カーソルは強く押し当てない
・上部支柱の目盛りは参考値として扱い、表示部の値を記録する

取り扱いについて

必ず守る

・絶対に、水洗いはしない
・過度の衝撃や振動を与えない
・電源プラグは、コード部分をもって引き抜かない
・長期間使用しない場合は、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く
・使用する前に正常かつ安全に作動することを確認する

保管について

必ず守る

・振動の激しい場所に保管しない
・湿気の多い場所に保管しない
・保管温度範囲外の場所に保管しない
・塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響の生じるおそれのない場所に保管する
・長期間使用しなかった時は、使用する前に正常かつ安全に作動することを確認する

廃棄について

必ず守る

・本機を破棄する際には、自治体の指示に従って処分する

お手入れについて

必ず守る

・熱湯やベンジン、シンナーなどは、使用しない
汚れたときは、水または家庭用洗剤を布に浸し、硬く絞って拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。

次のことは、法律で定められています

必ずお守りください。

ご使用の地域	・精度の保証ができませんので、定められた地域以外では使用しない （☞ P.40）
定期検査	・2年に1回、都道府県、特定市、または指定定期検査機関が行う定期検査を受ける ・計量士の行う代検査を受ける

用語の説明

本機および付属の説明書は、計量法で用いられる用語で表記されておりますので、以下の用語説明をよくお読みになったうえでご使用ください。

・ひょう量（ひょうりょう）／MAX

はかりの計量できる最大の重さを表します。
【例】ひょう量200kgの場合は、200kgまではかることができます。
※ひょう量を超える重さのものは、はかることができません。

・目量（めりょう）／e

はかりの1つの目盛りの量を表し、デジタル表示のはかりの場合、数字が切り替わる間隔を表します。
【例】目量0.1kgの場合は、表示が0.1kg間隔で増減します。

・最大減算風袋量（さいだいげんさんふうたいりょう）／T

重さをはかるときに使う容器、袋、包装紙などを「風袋（ふうたい）」と呼びます。そして、風袋の重さを差し引いて正味量をはかることを「風袋引き（ふうたいびき）」といい、事前に設定した風袋量を差し引くことを「プリセット風袋引き（PT：Preset Tare）」といいます。

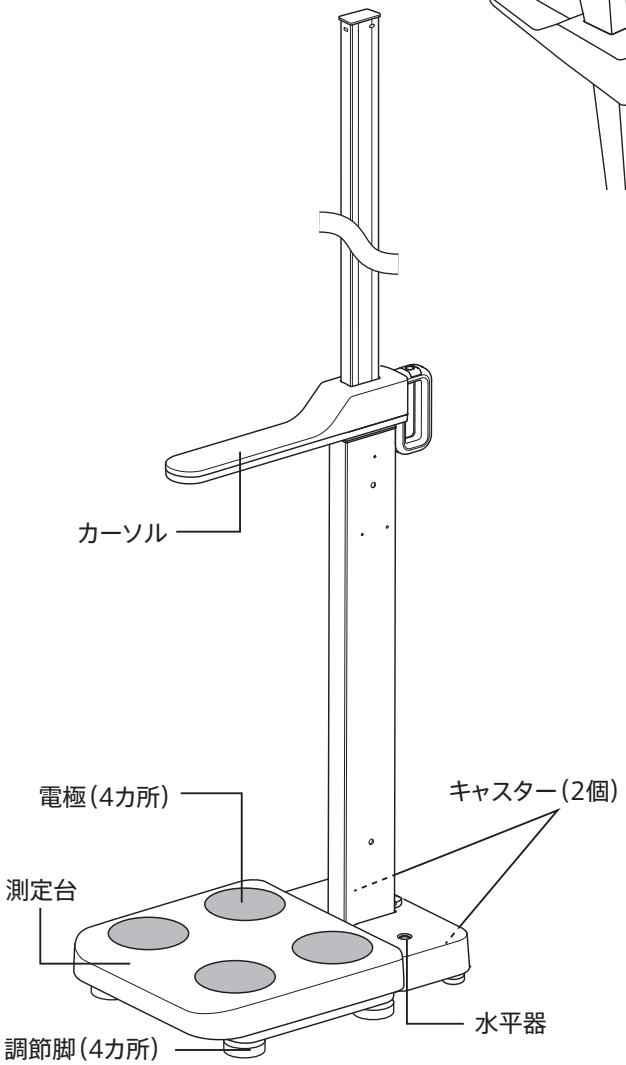
図記号の説明

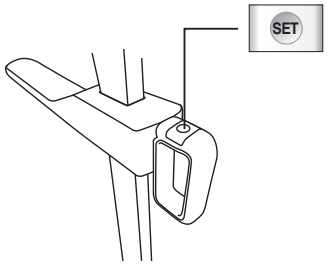
本機に記載されている図記号とその意味は以下の通りです。

⊖⊂⊕	ACアダプターの極性（センタープラス）	⚠	注意　添付注記をご覧ください。
⎓	直流	SD	SDメモリーカード
～	交流		取扱説明書をご覧ください。
	入力、出力	SET	測定した身長の値を確定します。

各部の名称と付属品

測定台





SETボタン
測定した身長の値を確定します。

付属品

☑取扱説明書（本書）
□操作手順ガイド
□ACアダプター

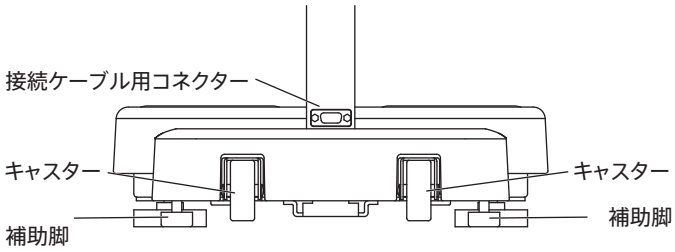


□ポスター
□収納バッグ
□プリンター用紙×1巻
□電源コード

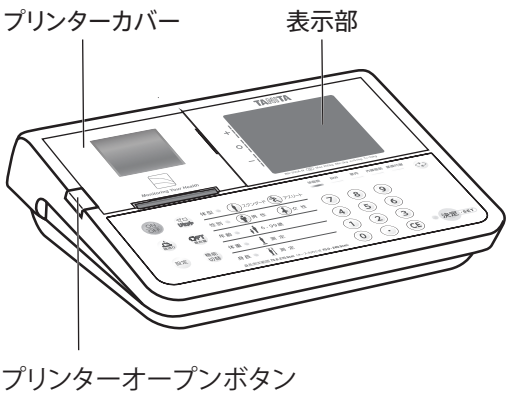


□保証書
□ドライバー

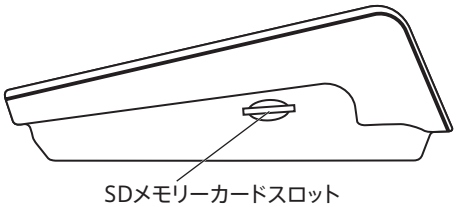
測定台背面

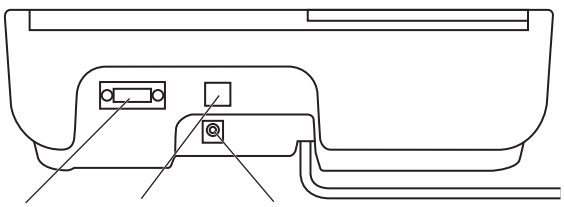


コントローラー



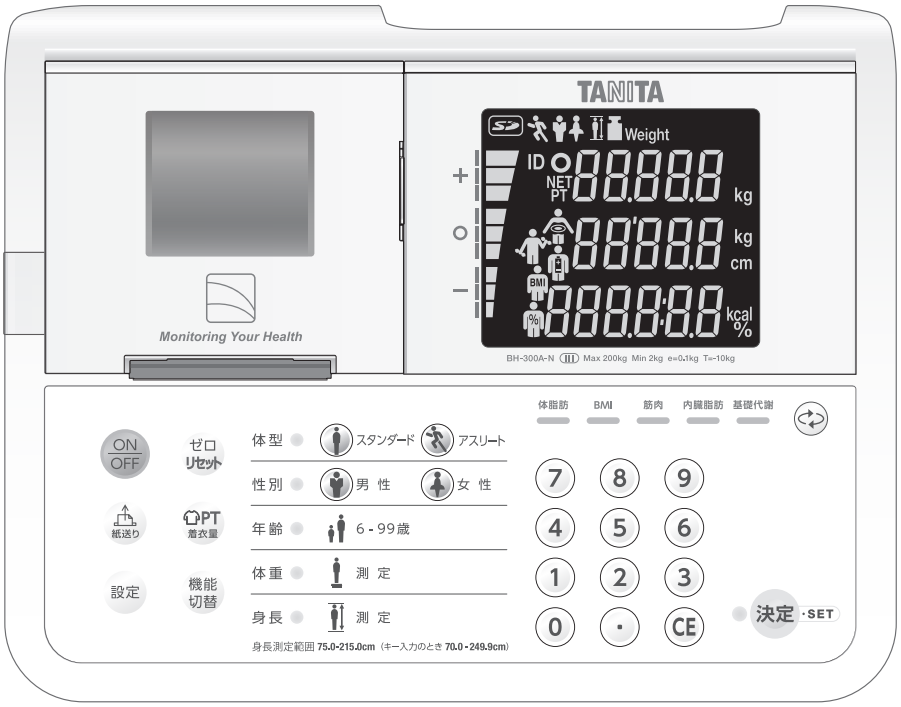
コントローラー右側／背面





※測定結果を保存される場合は、別売のSDメモリーカードをお買い求めください。
（☞ P.13 SDメモリカードのセット）
※RS-232CシリアルポートとUSB タイプBは、同時に使用することができません。

画面とボタン



マークの意味

	身長体重計として使用するときに点灯します。		体重計が安定すると点灯します。
	体重計として使用するときに点灯します。	ID	IDを設定するときに点滅します。
PT	プリセット風袋量（着衣量）を設定するときに点滅します。	SD	SDメモリーカードを認識すると点灯します。
NET	プリセット風袋量（着衣量）が設定されていると測定中に点灯します。		

ボタンの機能

ON OFF	電源をON/OFFします。
紙送り	紙送りします。 （☞ P.12）
設定	色々な機能を設定します。 （☞ P.14）
ゼロ リセット	0kgにリセットします。 プリセット風袋量（着衣量）が設定されているとリセットできません。
PT 着衣量	プリセット風袋量（着衣量）を設定します。
機能 切替	「身長体組成計」「身長体重計」「体重計」を選択します。 （☞ P.30、33）
決定 ·SET	測定した値や入力した値を確定します。

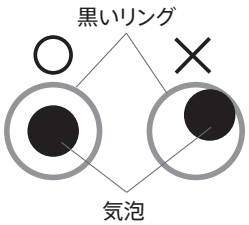
体型 スタンダード アスリート	「スタンダード」「アスリート」を選択します。
性別 男 性 女 性	「男性」「女性」を選択します。
年齢 6 - 99歳	6～99才の範囲で入力します。
体重 測 定	体重を測定します。
身長	75.0～215.0cmの範囲ではかります。 70.0～249.9cmの範囲で入力します。

	ボタンを押すごとに、結果表示が切り替わります。 （☞ P.25、29）
「%」	**体脂肪率** 」身長（cm）、脂肪率（%）を表示します。 （☞ P.25、29）
↓	
「BMI」	**BMI** 」身長（cm）、BMIを表示します。 （☞ P.25、29）
↓	
「」	**筋肉量** 」筋肉量（kg）を表示します。 （☞ P.25、29）
↓	
「」	**内臓脂肪** 」内臓脂肪レベルを表示します。 （☞ P.25）
↓	
「」	**基礎代謝** 」基礎代謝量（kcal）を表示します。 （☞ P.25）

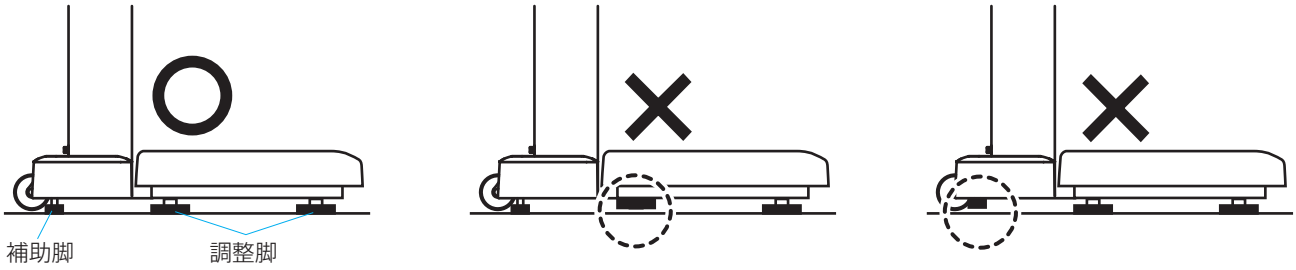
設置と接続

水平の確認

・正確に測定するために、測定台はできるだけ水平に設置してください。
・調整脚（4カ所）を回転させ、水平器の気泡が中央に来るように調節してください。
・4カ所の調整脚および2カ所の補助脚が浮かないように調整してください。

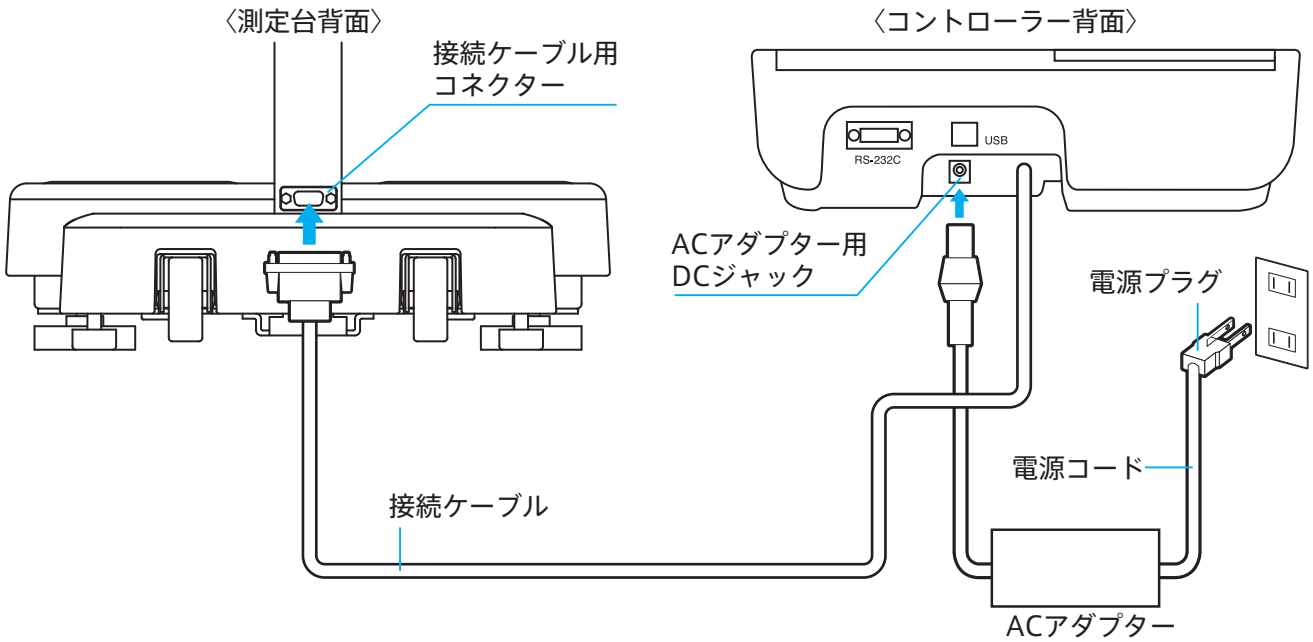


水平器を上から見た状態



測定台とコントローラーの接続

1.測定台の接続ケーブル用コネクターにコントローラーの接続ケーブルを接続してください。
2.ACアダプターと電源コードを接続し、ACアダプターをコントローラーのDCジャックに差し込んでください。
3.電源コードのプラグ側をコンセントに差し込んでください。



⚠警告

感電のおそれがありますので、ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。

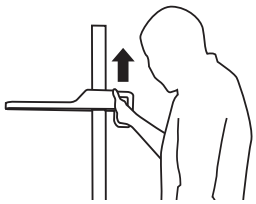
⚠注意

付属のACアダプター以外使用しないでください。

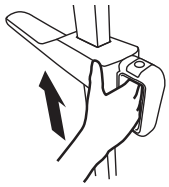
身長計の伸縮

身長計は上部支柱を伸縮することで測定範囲を変更することができます。ロングモードで測定する場合は、身長計を伸ばしてください。ショートモード：75.0～160.0cm／ロングモード：75.0～215.0cm
出荷時はショートモードに設定されています。

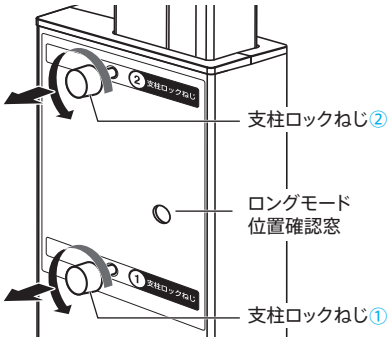
お願い



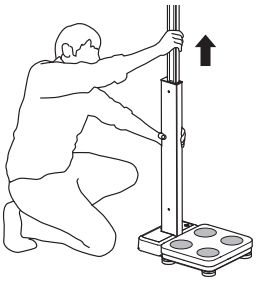
・測定を始める前にカーソルを安全な位置まで上げてください。
・カーソルをスライドするときは、周囲の安全を確認してください。カーソルの先端で、けがをするおそれがあります。



支柱の近くを持つことでスムーズな操作、より正確な測定ができます。

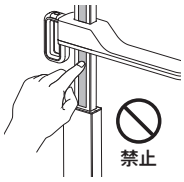


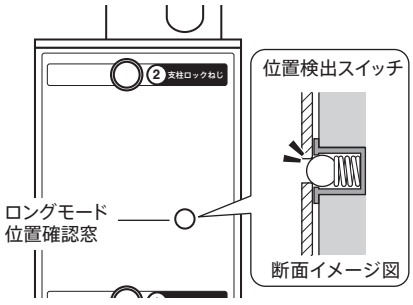
1 ①、②の順に支柱ロックねじを外し、下部支柱を押さえながら上部支柱を引き上げます。



⚠注意

穴や隙間に指をはさまないようにご注意ください。

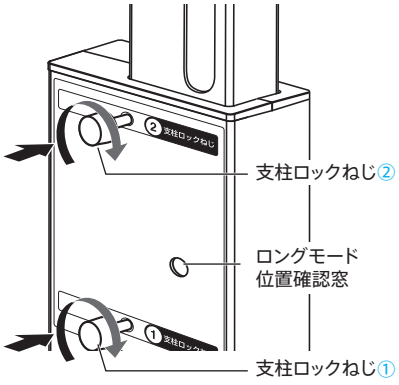




2 支柱が突き当たると、位置検出スイッチがロングモード位置確認窓に収まります。位置確認窓と位置検出スイッチは支柱の両側面にあります。

お知らせ

縮めるときは、支柱ロックねじを外した状態で、上段支柱が下に当たるまで降ろします。

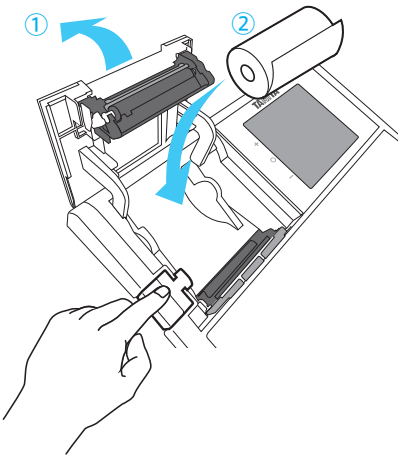


3 ①、②の順に支柱ロックねじを取り付けます。ねじが奥まで入らない場合は、位置検出スイッチが確認できるまで上部支柱をスライドしてください。

⚠注意

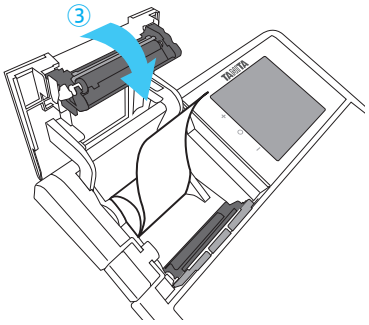
・支柱ロックねじは必ず２カ所に取り付けてください。また使用前には確実に支柱がロックされていることを確認してください。
・移動する際は、上部支柱を縮めてショートモードにし、必ず支柱ロックねじを取り付けてください。また測定台からコントローラーの接続ケーブルを外してください。

プリンター用紙のセット

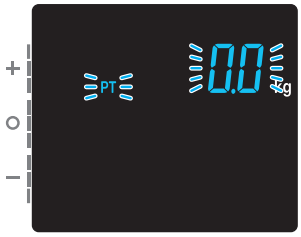


1

①電源が入っていない状態で、プリンターオープンボタンを押し、プリンターカバーを開けます。
②プリンター用紙をセットします。



プリンター用紙は接着面をはがし、約10cm引き出します。
③プリンターカバーを戻します。

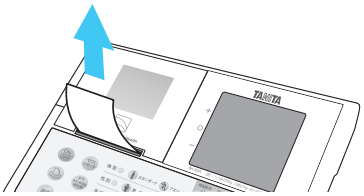


2

ON OFF を押し、電源を入れます。

全点灯表示後、0.0kg が表示されます。

プリンターカバーが開いた状態で電源を入れると [OPEn が表示されます(☞ P.38)。



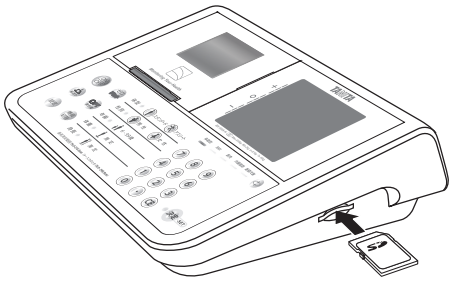
3

紙送り を押します。

プリンター用紙が自動で切れ、セットが完了します。

「プリンターのオートカット」の設定をoFFにしている場合は、オートカットは機能しません(☞ P.15)。

SDメモリーカードのセット



1 電源が入っていない状態で、ロゴ面を上にしてSDメモリーカードをスロットに差し込みます。

SDメモリーカードを入れる方向に注意してください。

2 ON/OFF を押し、電源を入れます。



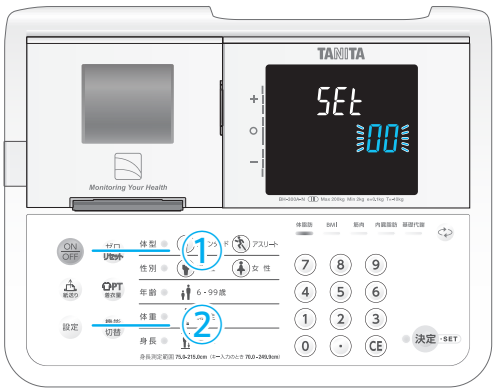
3 SDメモリーカードを認識すると、画面の左上に左の図のようなマークが表示されます。

お願い

・本機でご使用いただけるSDメモリーカードの種類は、SD / SDHCメモリーカード（最大 32GB まで）です。
※SDXCメモリーカードはご使用いただけません。
・一部のSDメモリーカードは、ご使用になれない場合があります。全てのメーカー・種類における動作保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
・SDメモリーカードは、本機の電源が切れている時に抜き差しを行ってください。
・本機にSDメモリーカードを入れる時には、正しい向きで、奥までしっかりと差し込んでください。
・本機に入れるSDメモリーカードには、関係の無いデータ(ファイルやフォルダ)は入れないでください。データが破損するおそれがあります。
・SDメモリーカードの表面にラベルなどを貼らないでください。機器内部で剥がれると取り出せなくなり、故障するおそれがあります。

設定

入力を間違えた場合は、CEを押すと戻ります。



1 ①で電源を入れると、0.0kgが表示されます。

2 ②の設定を押すと、SEt 00 が表示され、
設定モードになります。

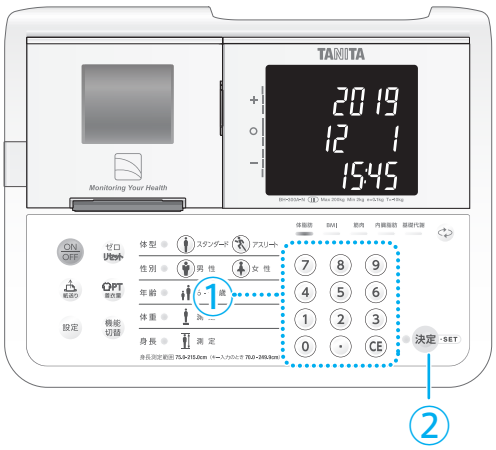
設定項目内容

設定番号	設定内容	入力可能数字	出荷時設定	詳細ページ
SEt 1	日時			P.14
SEt 2	プリント枚数	**0**、**1**、**2**、**3**枚	**1**枚	P.15
SEt 4	プリンターのオートカット	**0**:oFF、**1**:on	**1**:on	P.15
SEt 5	ブザー音	**0**:oFF、**1**:on	**1**:on	P.15
SEt 6	成人簡易測定モード	**0**:oFF、**1**:on	**0**:oFF	P.16
SEt 7	ID番号	**0**:oFF、**1**:on	**0**:oFF	P.16
SEt 9	アスリート選択	**0**:oFF、**1**:on	**1**:on	P.16
SEt 10	身長単位の設定	**0**:0.1cm単位、**1**:1cm単位	**0**:0.1㎝単位	P.17
SEt 11	入力時の自動確定時間	**0** ～ **9**秒	**0**秒	P.17
SEt 13	RS-232Cポート電源供給	**0**:oFF、**1**:on	**0**:oFF	P.17
SEt 20	印刷パターン	**1**:通常、**2**:短縮	**1**:通常	P.18
SEt 21	自動終了	**0**:oFF、**1**:on	**0**:oFF	P.18
SEt 30	通信形式の設定	**0**:BH-300A、**1**:DC-217A、**2**:TBF-215	**0**:BH-300A	P.18
SEt 44	身長体重計のBMI/ローレル指数選択	**1**:BMI、**2**:ローレル指数	**1**:BMI	P.19

設定画面の表示中は、選択されている数字が点滅します。

各設定は、決定後にもう一度②を押すと終了します。

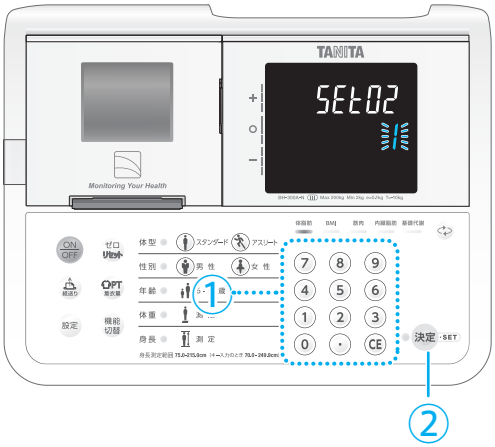
日時



1 ①で「1」を選択し、②で決定します。

2 ①で日時を入力し、②で決定します。
例) 2019年12月1日15時45分 → 1912011545

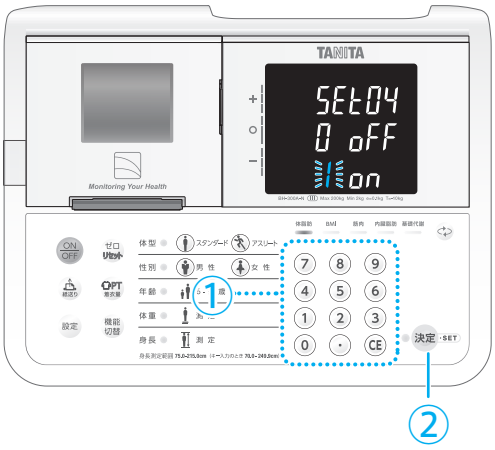
プリント枚数



1 ①で「2」を選択し、②で決定します。

2 ①で枚数（0～3）を入力し、②で決定します。

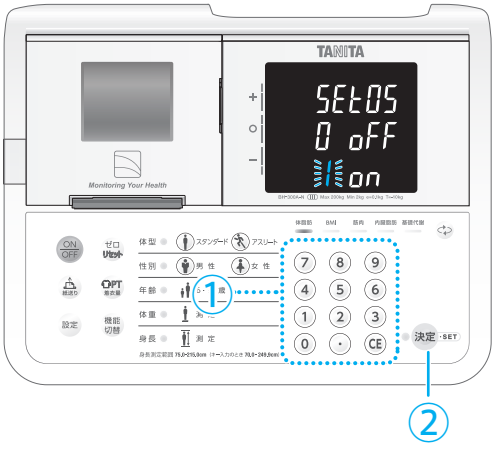
プリンターのオートカット（印刷後に用紙を自動的にカットする）



1 ①で「4」を選択し、②で決定します。

2 ①で「0：oFF」か「1：on」を選択し、
②で決定します。

ブザー音



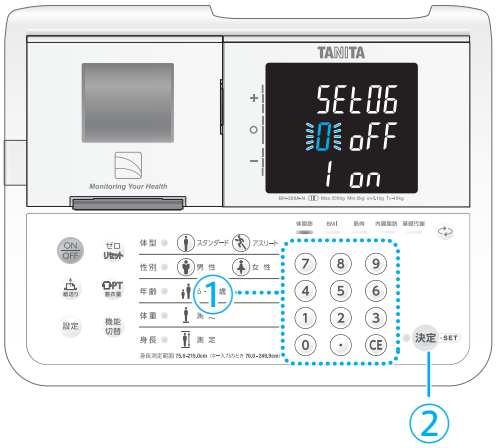
1 ①で「5」を選択し、②で決定します。

2 ①で「0：oFF」か「1：on」を選択し、
②で決定します。

設定（つづき）

入力を間違えた場合は、CEを押すと戻ります。

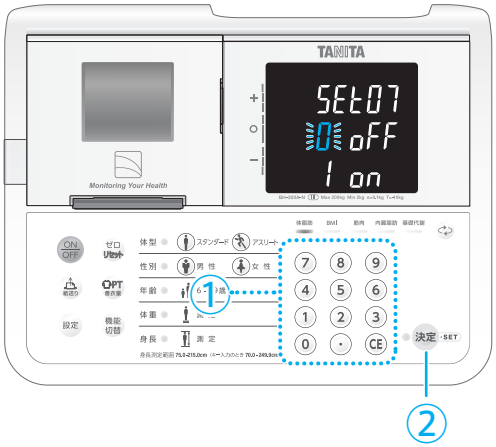
成人簡易測定モード（設定を省略して体組成測定を行う機能 ☞ P.26）



1 ①で「6」を選択し、②で決定します。

2 ①で「0：oFF」か「1：on」を選択し、②で決定します。

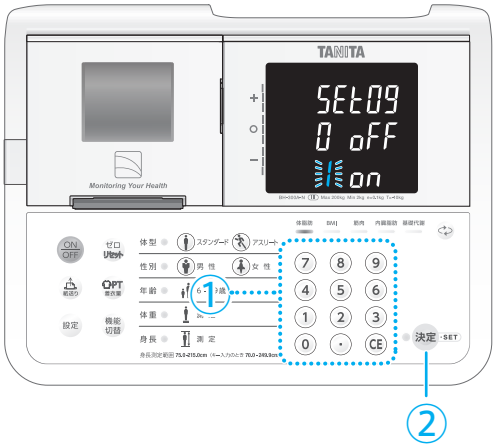
ID番号



1 ①で「7」を選択し、②で決定します。

2 ①で「0：oFF」か「1：on」を選択し、②で決定します。

アスリート選択（体組成測定時 ☞ P.23）



1 ①で「9」を選択し、②で決定します。

2 ①で「0：oFF」か「1：on」を選択し、②で決定します。

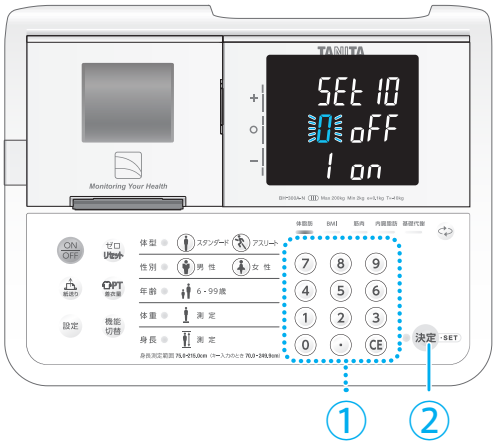
アスリートについて

18才以上で次の条件に当てはまる方は「アスリート」を選択し、参考値としての測定をおすすめします。

- 1週間に12時間以上のトレーニングを行っている方。
- 体育会やスポーツ実業団に所属し、競技会などを目指している方。
- ボディビルダーのように筋肉量が多くなるようなトレーニングを行っている方。
- プロスポーツ選手。

※「体型」で「アスリート」を選択した場合でも、年齢が17才以下の場合は自動的に「スタンダード」に変更されます。

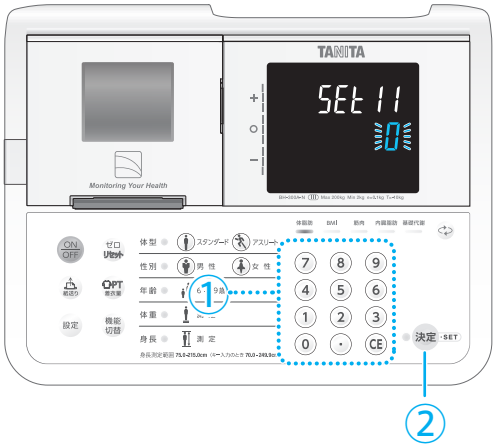
身長単位の設定



1 ①で「10」を選択し、②で決定します。

2 ①で「0：oFF（0.1cm単位）」か「1：on（1cm単位）」を選択し、②で決定します。

入力時の自動確定時間（各設定時に数値入力後、決定を押さずに自動的に入力値を確定する機能）

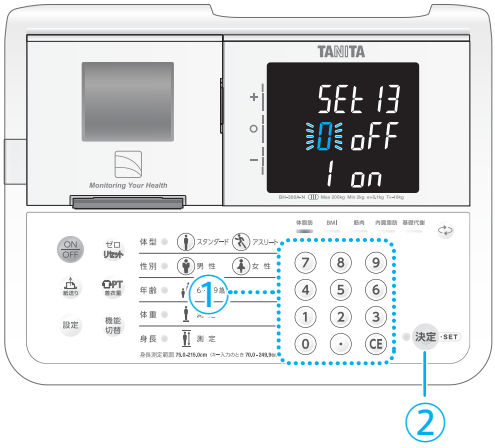


1 ①で「11」を選択し、②で決定します。

2 ①で秒数（0～9）を入力し、②で決定します。

1～9秒に設定した場合：各設定時に数値を入力し、設定した秒数が経過すると自動的に数値が確定します。
0秒に設定した場合：各設定時に数値を入力し、決定を押すと数値が確定します。

RS-232Cポート電源供給（データ送受信用ワイヤレスアダプターを接続した時に、本機から電源を供給する機能）



1 ①で「13」を選択し、②で決定します。

2 ①で「0：oFF」か「1：on」を選択し、②で決定します。

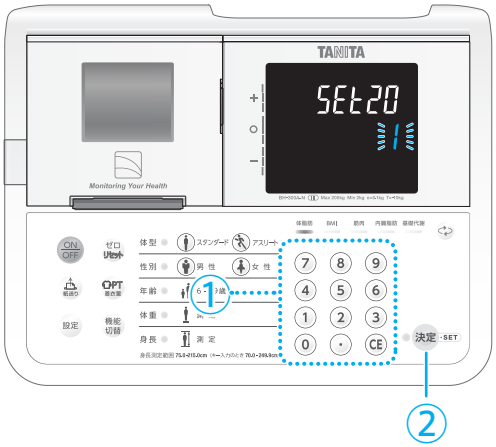
⚠注意

電源供給が必要な専用のオプション商品を接続しない場合は必ずoFFでお使いください。設定をonにした状態で非対応の機器を接続すると、相手機器を破損するおそれがあります。

設定（つづき）

入力を間違えた場合は、CEを押すと戻ります。

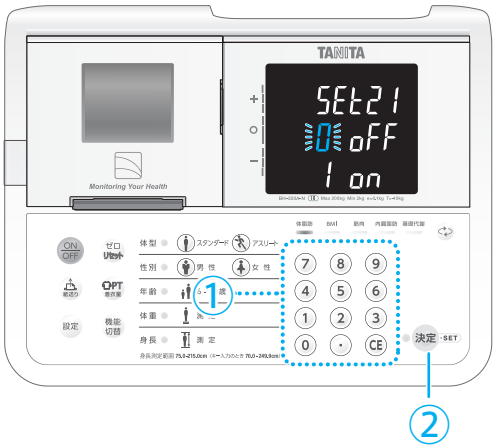
印刷パターン（☞ P.21）



1 ①で「20」を選択し、②で決定します。

2 ①で印刷パターン（1：通常／2：短縮）を選択し、②で決定します。

自動終了（測定後、測定台から降りた際に、自動的に次の測定に進む機能）

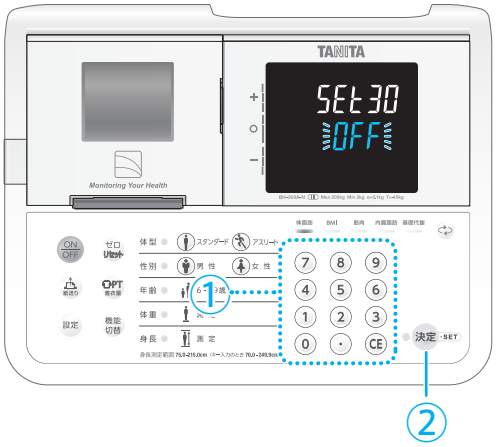


1 ①で「21」を選択し、②で決定します。

2 ①で「0：oFF」か「1：on」を選択し、②で決定します。

on に設定した場合、測定台から降りると、自動的に次の測定に進みます。

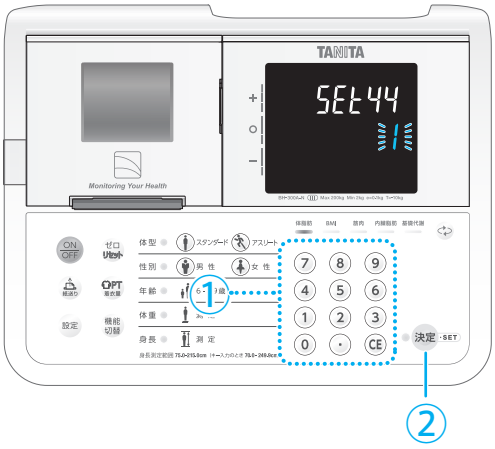
通信形式の設定（DC-217A／TBF-215互換モードに設定する機能）



1 ①で「30」を選択し、②で決定します。

2 ①で通信形式を「0：oFF（BH-300A-N）」、「1：217（DC-217A）」または「2：215（TBF-215）」から選択し、②で決定します。

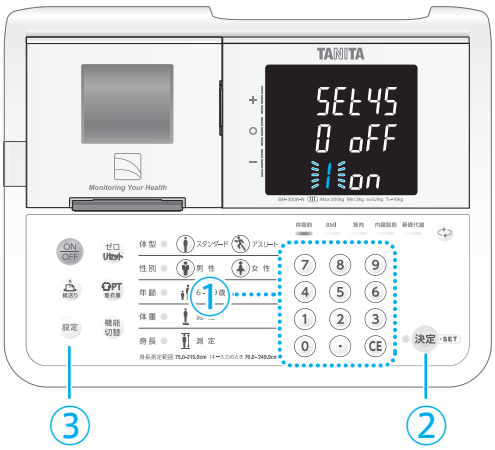
身長体重計時のBMI／ローレル指数選択



1 ①で「44」を選択し、②で決定します。

2 ①で項目（1：BMI／2：ローレル指数）を選択し、②で決定します。

印刷項目の選択



1 ①で下表より任意の数字を選択し（45～68）、②で決定します。

2 ①で「0：oFF」か「1：on」を選択し、②で決定します。

各設定は、決定後にもう一度③を押すと終了します。

設定項目内容

設定番号	設定内容	入力可能数字
SEt 45	脂肪量印刷	0：oFF、1：on
SEt 46	除脂肪量印刷	0：oFF、1：on
SEt 47	筋肉量印刷	0：oFF、1：on
SEt 48	体水分量印刷	0：oFF、1：on
SEt 49	推定骨量印刷	0：oFF、1：on
SEt 50	基礎代謝量印刷	0：oFF、1：on
SEt 52	内臓脂肪レベル印刷	0：oFF、1：on
SEt 53	脚点印刷	0：oFF、1：on
SEt 54	BMI印刷	0：oFF、1：on
SEt 55	ローレル指数の印刷	0：oFF、1：on
SEt 56	標準体重の印刷	0：oFF、1：on

設定番号	設定内容	入力可能数字
SEt 57	肥満度の印刷	0：oFF、1：on
SEt 58	体脂肪率適正範囲印刷	0：oFF、1：on
SEt 59	体水分率印刷	0：oFF、1：on
SEt 60	体脂肪率グラフ印刷	0：oFF、1：on
SEt 61	BMIグラフ印刷	0：oFF、1：on
SEt 62	内臓脂肪レベルグラフ印刷	0：oFF、1：on
SEt 63	筋肉量レベルグラフ印刷	0：oFF、1：on
SEt 64	基礎代謝レベルグラフ印刷	0：oFF、1：on
SEt 65	脚点レベルグラフ印刷	0：oFF、1：on
SEt 66	体型判定印刷	0：oFF、1：on
SEt 68	TANITAロゴ印刷	0：oFF、1：on

設定45～66は、身長体組成計の通常印刷の印刷項目の設定になります(☞P.20、21)。
印刷パターンで通常印刷が選択されているとき、これらの設定で、個々の印刷をon／oFFできます(☞P.18)。

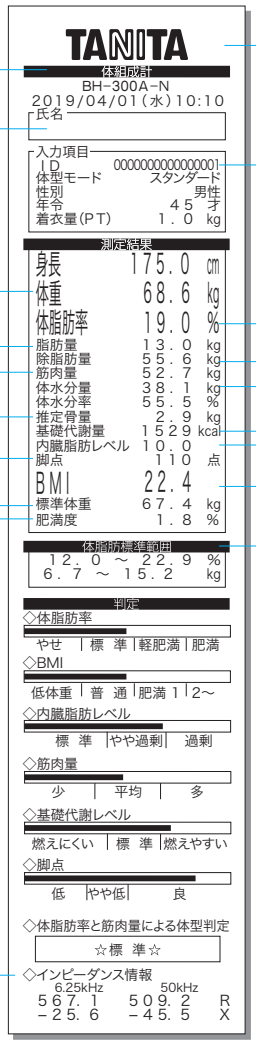
設定（つづき）

印刷項目一覧

印字項目	身長体組成計 通常印刷				身長体組成計 短縮印刷				身長体重計	体重計
	成人簡易測定	スタンダード	アスリート	小児	成人簡易測定	スタンダード	アスリート	小児		
ロゴ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カテゴリーネーム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
機種番号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
日時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
氏名	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ＩＤ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
体型		●	●			●	●			
性別	●	●	●	●	●	●	●	●		
年令		●	●	●		●	●	●		
着衣量	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
身長(結果)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
体重	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
体脂肪率	●	●	●	●	●	●	●	●		
脂肪量	○	○	○	○						
除脂肪量	○	○	○	○						
筋肉量	○	○	○	○						
体水分量	○	○	○	○						
体水分率	○	○	○	○						
推定骨量	○	○	○	○						
基礎代謝量		○	○							
内臓脂肪レベル		○	○							
脚点		○	○							
ＢＭＩ	●	●	●		●	●	●		※1	
ローレル指数				●				●	※1	
標準体重		○		○						
肥満度		○		○						
標準範囲		○	○	○						
体脂肪率グラフ		○	○	○						
BMIグラフ	○	○	○							
内臓脂肪レベルグラフ		○	○							
筋肉量グラフ		○	○							
基礎代謝レベルグラフ		○	○							
脚点グラフ		○	○							
体型判定		○	○							
インピーダンス情報	●	●	●	●	●	●	●	●		

●の項目は、常時印刷されます。
○の項目は、設定により選択が可能です。
設定により、機能しない項目は非表示になります。
※1：設定44に従い、どちらか１つが印刷されます（☞P.19）。

身長体組成計通常印刷の場合



カテゴリーネーム

氏名欄
必要に応じて手書きでご記入ください。

体重
測定した体重です。

脂肪量
からだの脂肪分だけの重さを表したものです。

筋肉量
骨格筋、平滑筋(心臓や内臓脂肪)とこれらの筋肉に含まれる水分量を含んだ値です。

推定骨量
体内の骨量を示します。

脚点
脚点(脚部筋肉量点数)とは、体重に占める脚の筋肉量の割合が理想的とされる値と比較して、今のあなたの割合がどの程度なのか点数で表示したものです。
※17歳以下は表示されません。

標準体重
BMIが22になる値を標準体重としています。

肥満度
$\frac{(体重)-(標準体重)}{(標準体重)}$ ×100で計算した値です。

インピーダンス情報
リアクタンス／レジスタンス情報が表示されます。
(測定結果の判定を左右するものではありません)。

ロゴ

ID
ID番号をonに設定するとプリントされます
(出荷時のID番号の設定はoFFです)(☞P.14)。

体脂肪率
体重に占める脂肪の割合を示したものです。

除脂肪量
体重から脂肪の重さを除いた、脂肪以外の部分(筋肉、水分、骨など)の重さです。

体水分量
からだの水分量のことで、血液やリンパ液、細胞間液、細胞内液などからなります。

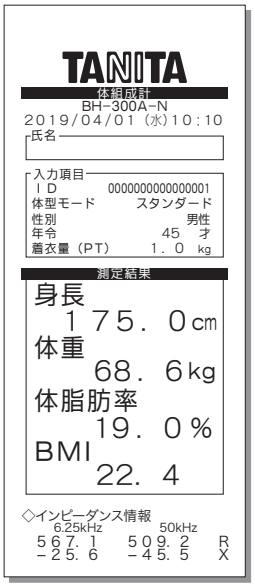
基礎代謝量
本機では基礎代謝基準値の年代ごとの平均値と統計的分布に基づいて基礎代謝を「燃えにくい－標準－燃えやすい」で表示します。
※参考／厚生労働省「日本人の食事摂取基準 2015年版」
※17歳以下は表示されません。

内臓脂肪レベル
内臓脂肪は腹筋の内側についた脂肪のことで、見た目ではわかりにくいものです。本機では、内臓脂肪レベルを 1～59で判定します。
※17歳以下は表示されません。

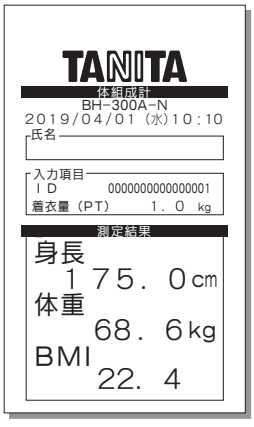
BMI
「体重(kg)／身長(m)^2」で計算されます。疾病が少ないのは「22」とされています。
※身長体組成計は17才以下の設定で測定した場合、ローレル指数が印字されます。

体脂肪標準範囲はスタンダードの値です。アスリートの場合は標準範囲は参考値としてください。なお、17歳以下の方は標準範囲は体脂肪率以外表示されません。

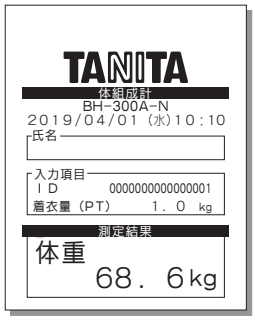
身長体組成計短縮印刷の場合



身長体重計の場合



体重計の場合



お知らせ

身長体組成計の場合、測定姿勢が正しくないと印字されます。結果は参考値としてご使用ください。

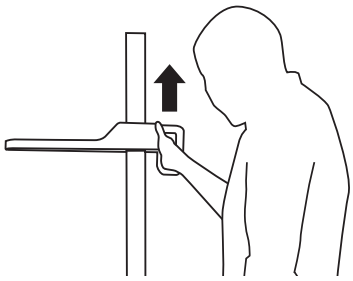
接触状態検知マーク



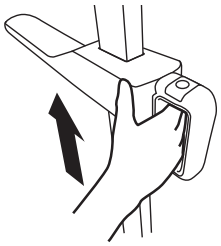
※印刷サンプルはイメージ図です。実際の印刷物と異なる場合があります。

身長体組成計として使う

お願い



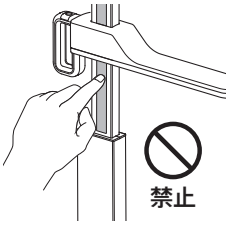
・測定を始める前にカーソルを安全な位置まで上げてください。
・カーソルをスライドするときは、周囲の安全を確認してください。カーソルの先端で、けがをするおそれがあります。



支柱の近くを持つことでスムーズな操作、より正確な測定ができます。

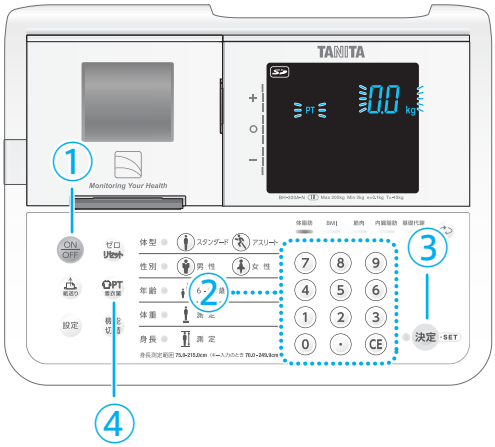
⚠注意

穴や隙間に指をはさまないようにご注意ください。



CEを押すと、1つ前のステップに戻ります。「入力時の自動確定時間」(☞P.17)に応じて、自動的にステップが進みます。

プリセット風袋量(着衣量)の設定

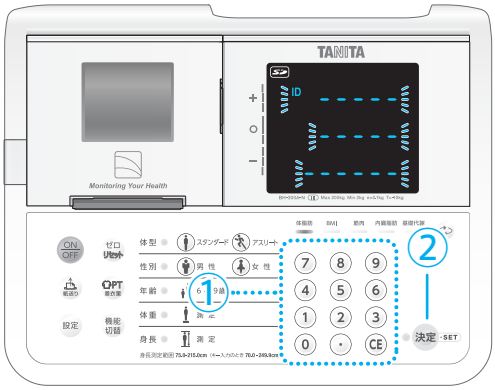


1 ①で電源を入れます。

2 ②でプリセット風袋量(着衣量)を入力し(0.0～10.0kg)、③で決定します。

・着衣量を入力中は「PT」が表示され、確定すると風袋引き中は「NET」が表示されます。
・設定した着衣量は、電源を切るまで保存されます。変更する場合は④を押して設定し直してください。

ID番号の入力



1 ①で ID番号を入力し(16桁まで)、②を押して決定します。体型 ◯ のランプが点滅します。

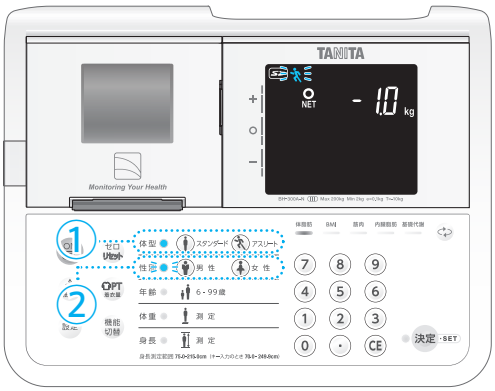
・「ID番号」の設定がOFFの場合はスキップします(☞P.16)。
・ID番号は測定ごとに1つ繰り上がりますが、任意の番号を入力することもできます。その場合、次の測定者はその番号から1つ繰り上がります。
・ID番号を入力せずに「-----」で決定すると「体型」に進みます。

体組成の測定

体型、性別、年齢を入力してから体重を測定します。先に「体重の測定」をしてから入力もできます。
「体型」、「性別」、「年齢」、「体重」のすべての項目の入力、測定が終了すると、インピーダンスの測定が始まります。
身長の測定が終わるまで、測定台から降りないでください。



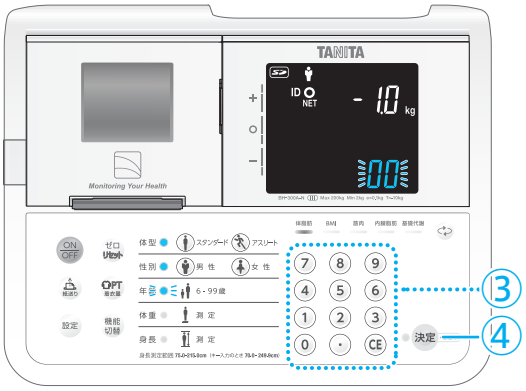
体型／性別／年齢の入力 体重の測定の後に、入力することもできます。



1 ①で体型を選択すると、
性別 ○ のランプが点滅します。

「アスリート選択」の設定がOFFの場合、体型の選択はスキップします(☞ P.16)。

2 ②で性別を選択すると、
年齢 ○ のランプが点滅します。



3 ③で年齢を入力し(6～99)、④で決定します。

あらかじめ体重を測定している場合は、インピーダンスの測定に進みます。

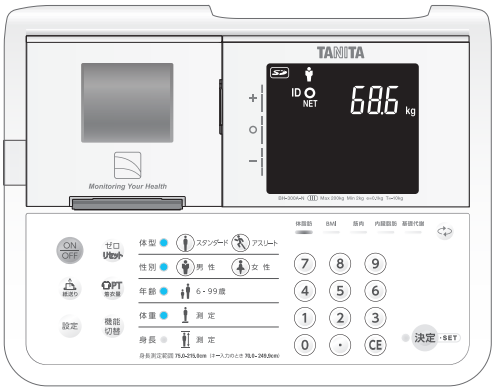
アスリートについて

18才以上で次の条件に当てはまる方は「アスリート」を選択し、参考値としての測定をおすすめします。

・1週間に12時間以上のトレーニングを行っている方。
・体育会やスポーツ実業団に所属し、競技会などを目指している方。
・ボディビルダーのように筋肉量が多くなるようなトレーニングを行っている方。
・プロスポーツ選手。

※「体型」で「アスリート」を選択した場合でも、年齢が17才以下の場合は自動的に「スタンダード」に変更されます。

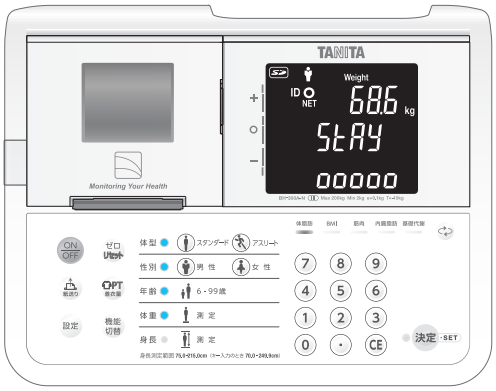
体重／インピーダンスの測定 身長測定が終了するまで、測定台から降りないでください。



1 体重 ○ のランプとSTEP on が点滅したら、素足で測定台に乗ります。
体重の測定値が安定すると「0」が表示されます。

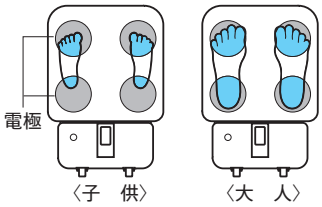
体型、性別、年齢を入力していない場合は、体型 ○ のランプが点滅します。

身長体組成計として使う（つづき）

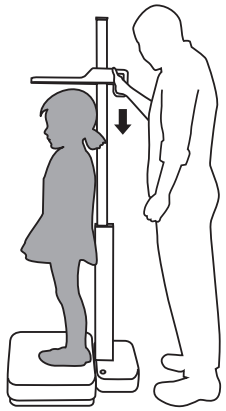


2 StAY が点滅し、インピーダンスを測定します。
インピーダンスの測定が終了すると 身長 ○ のランプが点滅します。

測定中は電極に合わせて乗り、StAY が消えるまで動かないでください。

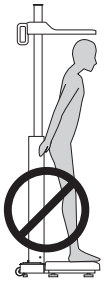


身長の測定



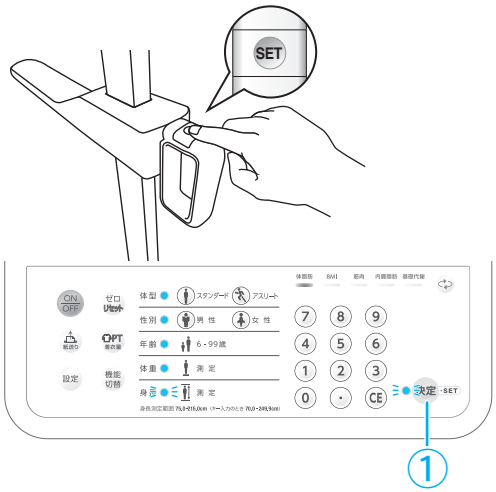
1 カーソルを頭の上に合わせます。

⚠注意



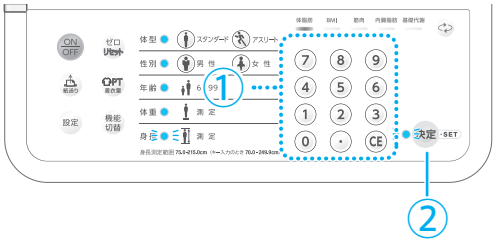
支柱に強い力をかけないでください。
転倒するおそれがあります。

2 カーソルの SET または①を押します。



お願い

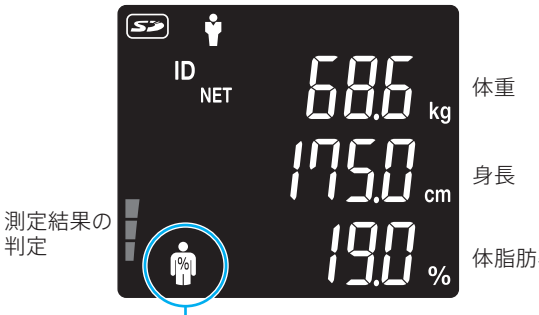
上部支柱の目盛りは参考値です。表示部の値を記録してください。



お知らせ

身長は、測定せずキー入力することもできます。
①で身長を入力し、②で決定します。
入力範囲は70.0～249.9cmです。
身長測定範囲外の場合、キー入力してください（☞P.9）。
例）215.1cmの場合→2151　※小数点は入力しません。

測定結果



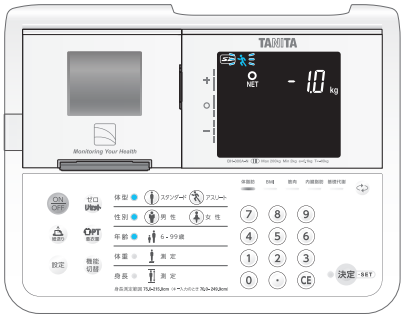
1 測定結果が表示されます。

・「プリント枚数」の設定が1、2、3枚に設定されていると、測定結果が自動で印刷されます(☞ P.15)。
・測定結果表示中に⇄を押すと、表示項目が順次替わります。

お知らせ

測定姿勢が正しくないと、画面に表示されているマークが点滅します。結果は参考値としてご使用ください。





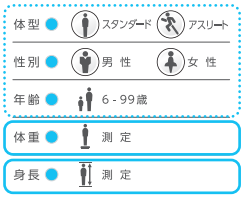
2 測定台から降りてください。
次の測定に進みます。

「自動終了」の設定がOFFの場合、測定台から降りても次の測定に進みません(☞ P.18)。
○決定または CE を押してください。

使いかた

身長体組成計として使う(成人簡易測定モード)

プリセット風袋量(着衣量)、ID番号、性別の設定内容は電源を切るまで保存され、2人目からは設定をスキップして連続測定が行えます(☞P.16)。

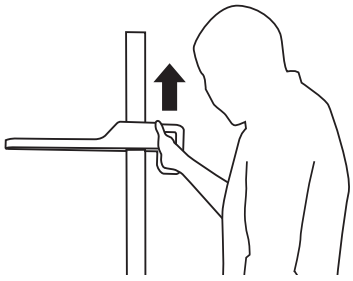


体型 ← スタンダードに固定されます。

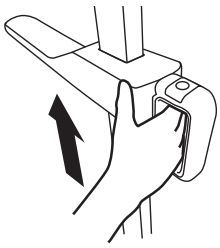
性別 ← 電源を入れて、最初に選択した性別が保持されます。
男性 または 女性 を押して、変更することができます。

年齢 ← 成人に固定されます。

お願い



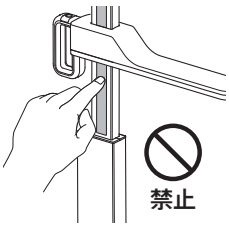
・測定を始める前にカーソルを安全な位置まで上げてください。
・カーソルをスライドするときは、周囲の安全を確認してください。カーソルの先端で、けがをするおそれがあります。



支柱の近くを持つことでスムーズな操作、より正確な測定ができます。

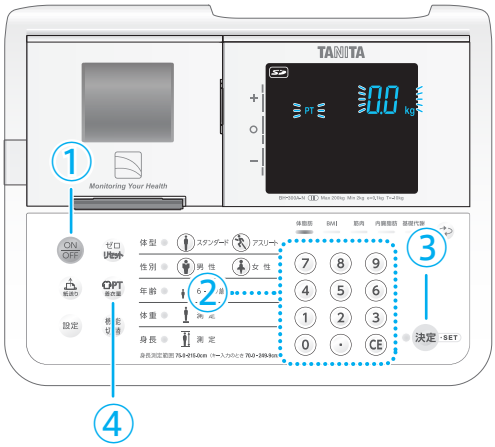
⚠注意

穴や隙間に指をはさまないようにご注意ください。



CE を押すと、1つ前のステップに戻ります。「入力時の自動確定時間」(☞P.17)に応じて、自動的にステップが進みます。

プリセット風袋量(着衣量)の設定

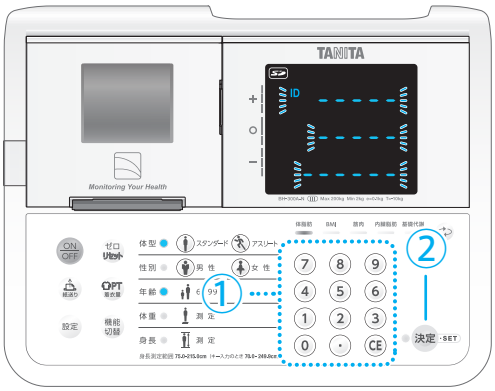


1 ①で電源を入れます。

2 ②でプリセット風袋量(着衣量)を入力し(0.0～10.0kg)、③で決定します。

・着衣量を入力中は「PT」が表示され、確定すると風袋引き中は「NET」が表示されます。
・設定した着衣量は、電源を切るまで保存されます。
変更する場合は④を押して設定し直してください。

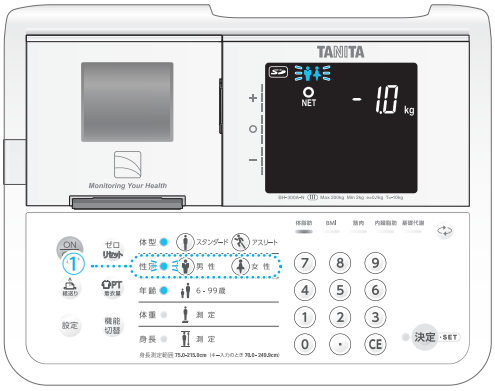
ID番号の入力



1 ①で ID番号を入力し（16桁まで）、②を押して決定します。性別 ○ のランプが点滅します。

・「ID番号」の設定がoFFの場合はスキップします（☞P.16）。
・「ID番号」をonに設定していると、測定ごとに1つ繰り上がります。
・2人目以降は設定がスキップされます。変更する場合は、体重の測定画面で CE を押して設定し直してください。
・ID番号を入力せずに「-----」で決定すると「性別」に進みます。

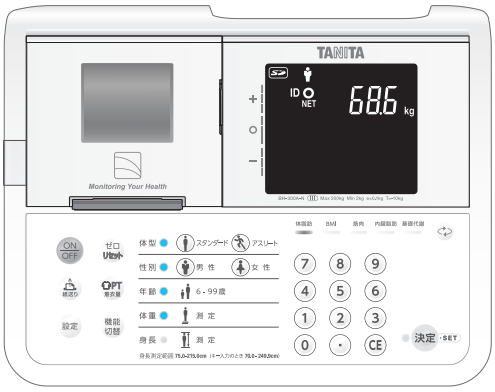
性別の入力



1 ①で性別を選択すると、体重 ○ のランプと StEPon が点滅します。

2人目以降は設定がスキップされます。変更する場合は、体重の測定画面で①を押して設定し直してください。

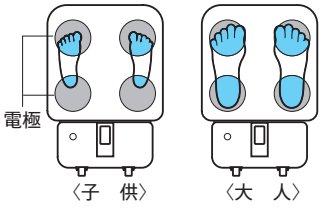
体重／インピーダンスの測定　身長測定が終了するまで、測定台から降りないでください。



1 素足で電極に合わせて乗ります。
体重の測定値が安定すると「O」が表示されます。

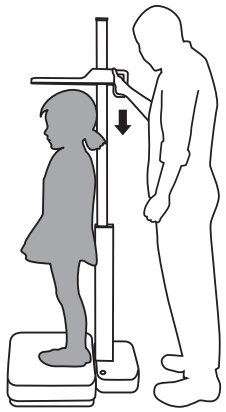
2 StAY が点滅し、インピーダンスを測定します。
インピーダンスの測定が終了すると 身長 ○ のランプが点滅します。

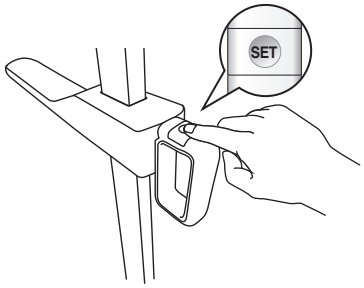
測定中は電極に合わせて乗り、StAY が消えるまで動かないでください。



身長体組成計として使う(成人簡易測定モード)(つづき)

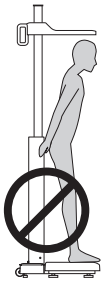
身長の測定





1 カーソルを頭の上に合わせます。

⚠注意

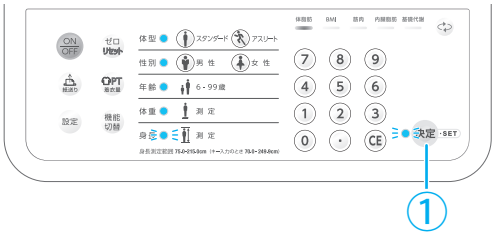


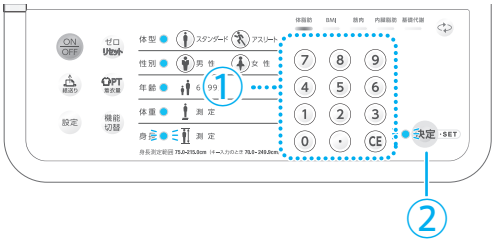
支柱に強い力をかけないでください。
転倒するおそれがあります。

2 カーソルの SET または①を押します。

お願い

上部支柱の目盛りは参考値です。表示部の値を記録してください。

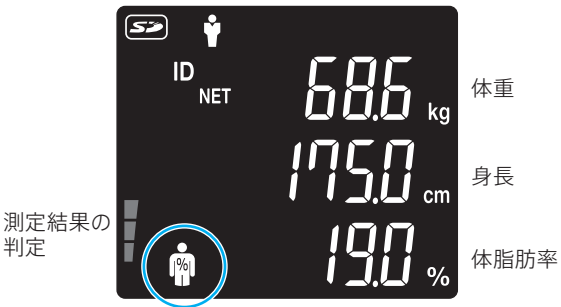




お知らせ

身長は、測定せずキー入力することもできます。
①で身長を入力し、②で決定します。
入力範囲は70.0～249.9㎝です。
身長測定範囲外の場合、キー入力してください(☞P.9)。
例)215.1cmの場合→2151　※小数点は入力しません。

測定結果



お知らせ

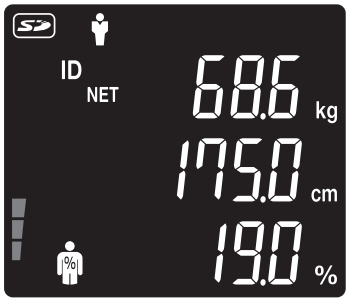
測定姿勢が正しくないと、画面に表示されているマークが点滅します。結果は参考値としてご使用ください。

1 測定結果が表示されます。

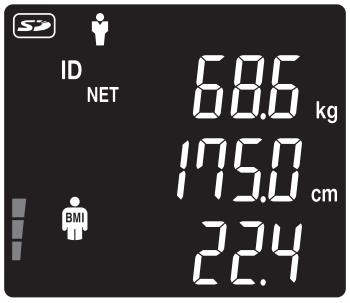
・「プリント枚数」の設定が1、2、3枚に設定されていると、測定結果が自動で印刷されます(☞P.15)。

・測定結果表示中に⇄を押すと、表示項目が順次替わります。

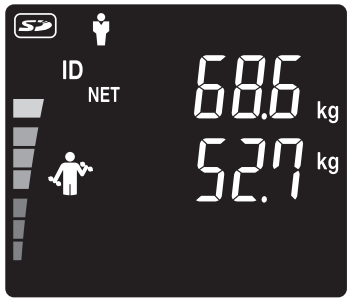
1.体脂肪率

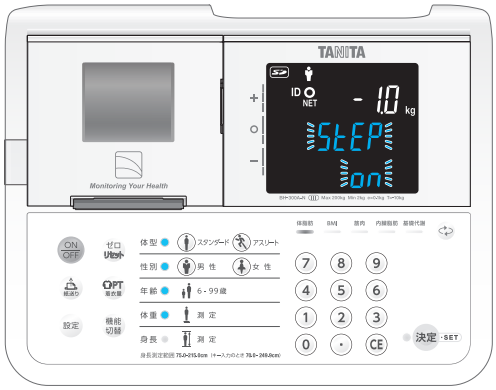


2.BMI



3.筋肉量





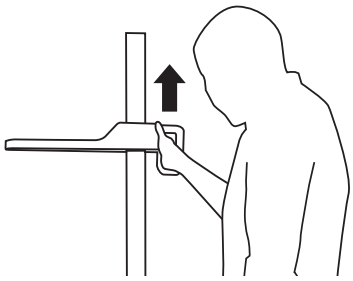
2 測定台から降りてください。
次の測定に進みます。

「自動終了」の設定がoFFの場合、測定台から降りても次の測定に進みません(☞P.18)。

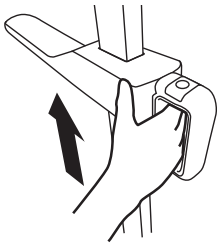
○決定 または CE を押してください。

身長体重計として使う

お願い



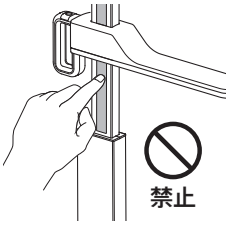
・測定を始める前にカーソルを安全な位置まで上げてください。
・カーソルをスライドするときは、周囲の安全を確認してください。カーソルの先端で、けがをするおそれがあります。



支柱の近くを持つことでスムーズな操作、より正確な測定ができます。

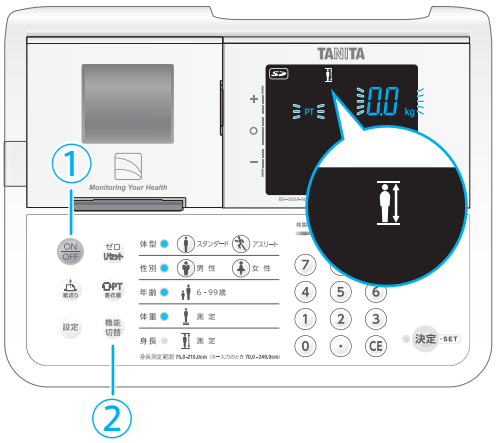
⚠注意

穴や隙間に指をはさまないようにご注意ください。



CEを押すと、1つ前のステップに戻ります。「入力時の自動確定時間」(☞P.17)に応じて、自動的にステップが進みます。

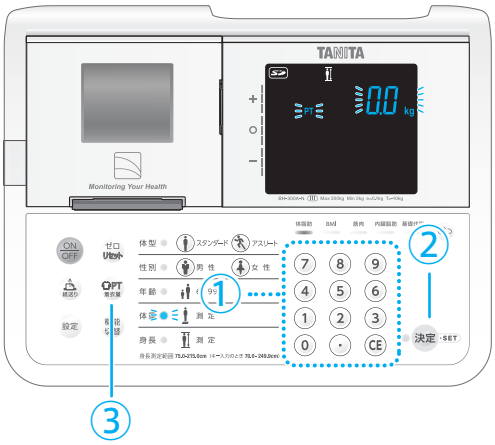
モード切替



1 ①で電源を入れます。

2 ②を押すと身長体重計モードになり、
が点灯します。

プリセット風袋量（着衣量）の設定

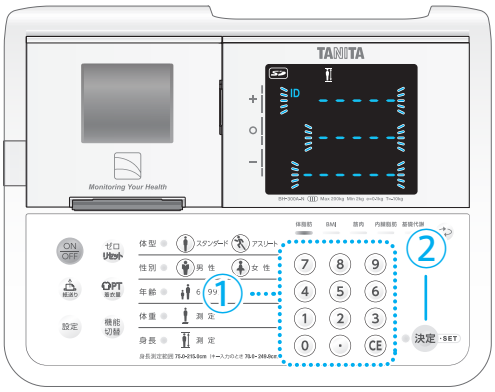


1

①でプリセット風袋量（着衣量）を入力し（0.0～10.0kg）、②で決定します。

・着衣量を入力中は「PT」が表示され、確定すると風袋引き中は「NET」が表示されます。
・設定した着衣量は、電源を切るまで保存されます。変更する場合は③を押して設定し直してください。

ID番号の入力



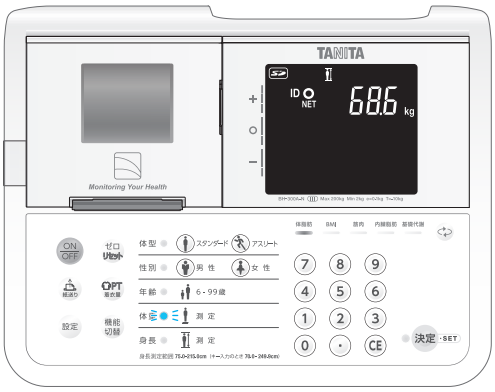
1

①で ID番号を入力し（16桁まで）、②を押して決定します。体重 ◉ のランプと StEPon が点滅します。

・「ID番号」の設定がoFFの場合はスキップします（☞P.16）。
・ID番号は測定ごとに1つ繰り上がりますが、任意の番号を入力することもできます。その場合、次の測定者はその番号から1つ繰り上がります。
・ID番号を入力せずに「-----」で決定すると「体重」に進みます。

体重の測定

身長測定が終了するまで、測定台から降りないでください。

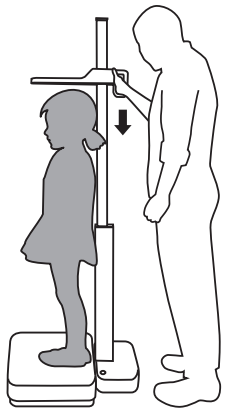


1

測定台に乗ります。
体重の測定値が安定すると「O」が表示されます。

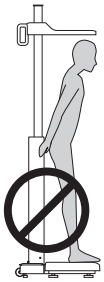
身長体重計として使う（つづき）

身長の測定

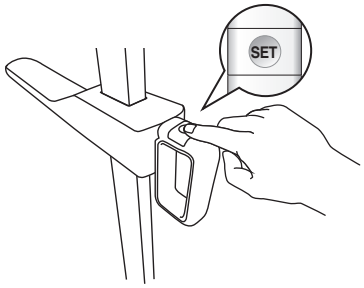


1 カーソルを頭の上に合わせます。

⚠注意



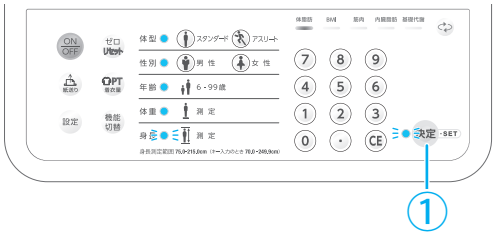
支柱に強い力をかけないでください。
転倒するおそれがあります。

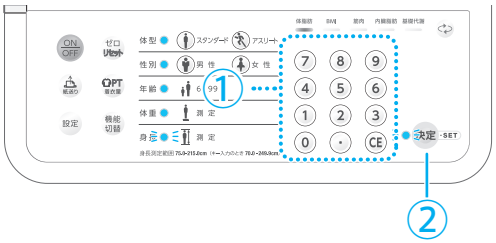


2 カーソルの SET または①を押します。

お願い

上部支柱の目盛りは参考値です。表示部の値を記録してください。

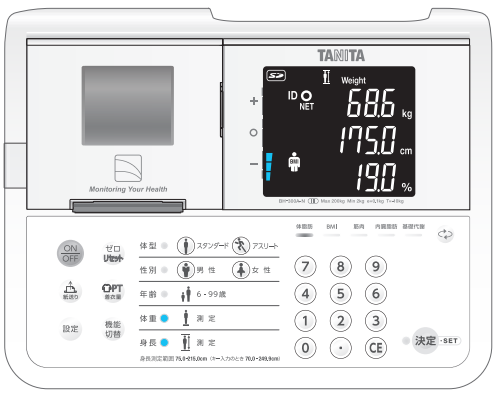




お知らせ

身長は、測定せずキー入力することもできます。
①で身長を入力し、②で決定します。
入力範囲は70.0～249.9㎝です。
身長測定範囲外の場合、キー入力してください（☞P.9）。
例）215.1cmの場合→2151　※小数点は入力しません。

測定結果



1 測定結果が表示されます。

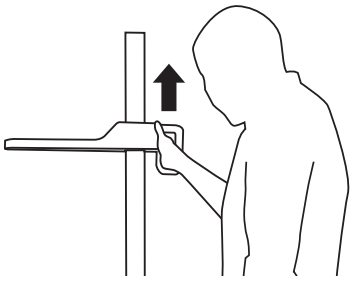
「プリント枚数」の設定が1、2、3枚の場合、測定結果が自動で印刷されます（☞P.15）。

2 測定台から降りてください。次の測定に進みます。

「自動終了の有無」の設定がOFFの場合、測定台から降りても次の測定に進みません（☞P.18）。
○決定 または CE を押してください。

体重計として使う

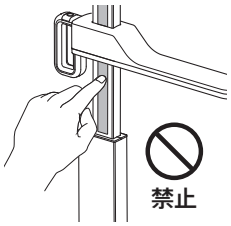
お願い



・測定を始める前にカーソルを安全な位置まで上げてください。
・カーソルをスライドするときは、周囲の安全を確認してください。
カーソルの先端で、けがをするおそれがあります。

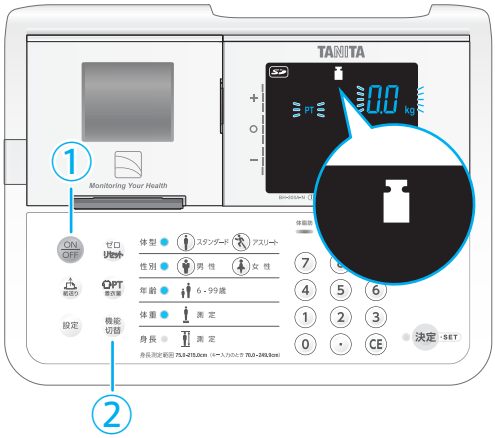
⚠注意

穴や隙間に指をはさまないようにご注意ください。



CE を押すと、1つ前のステップに戻ります。「入力時の自動確定時間」(☞P.17) に応じて、自動的にステップが進みます。

モード切替

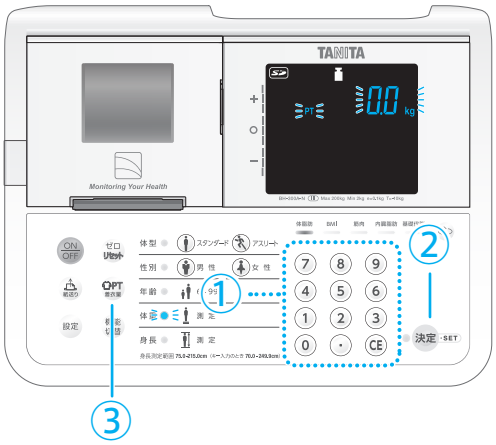


1 ①で電源を入れます。

2 ②を押すと体重計モードになり、画面に が点灯します。

体重計として使う（つづき）

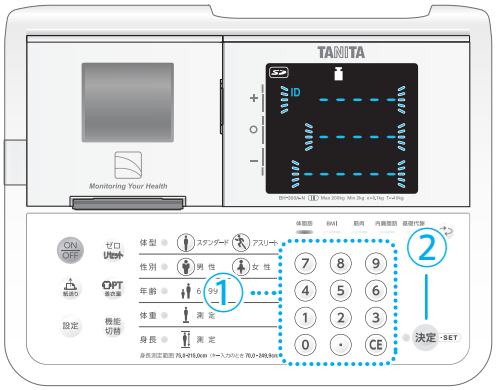
プリセット風袋量（着衣量）の入力



1 ①でプリセット風袋量（着衣量）を入力し（0.0～10.0kg）、②で決定します。

・着衣量を入力中は「PT」が表示され、確定すると風袋引き中は「NET」が表示されます。
・設定した着衣量は、電源を切るまで保存されます。変更する場合は③を押して設定し直してください。

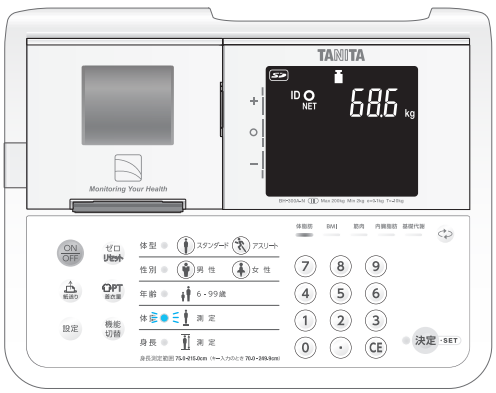
ID番号の入力



1 ①で ID番号を入力し（16桁まで）、②を押して決定します。体重 ◎ のランプと StEPon が点滅します。

・「ID番号」の設定がoFFの場合はスキップします（☞P.16）。
・ID番号は測定ごとに1つ繰り上がりますが、任意の番号を入力することもできます。その場合、次の測定者はその番号から1つ繰り上がります。
・ID番号を入力せずに「-----」で決定すると「体重」に進みます。

体重の測定／測定結果



1 測定台に乗ります。
体重の測定値が安定すると「○」が表示されます。

「プリント枚数」の設定が1、2、3枚に設定されていると、測定結果が自動で印刷されます（☞P.15）。

2 測定台から降りてください。次の測定に進みます。

「自動終了」がoFFの場合、測定台から降りても次の測定に進みません（☞P.18）。
○決定 または CE を押してください。

データ出力／データ保存

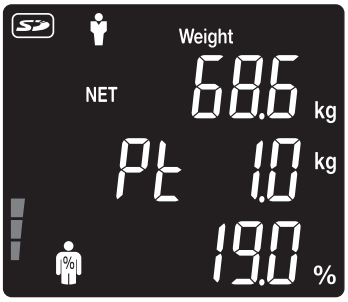
データ出力（パソコンにデータを出力する）

本機はUSBケーブルまたはRS-232Cケーブルを介して測定結果を出力することができます。

測定完了後、結果がパソコンに出力されます（☞ P.36）。

データ保存（測定結果のデータを保存する）

コントローラーにSDメモリーカードをセットしておくと、測定完了後、結果はSDメモリーカードに保存されます。



有効なSDメモリーカードを挿入するとSDマークが表示されます。

その日ごとに新しいCSVファイルがSDメモリーカードに作成されます。

作成ファイルは、ファイル名として以下に示すような測定日時を使います。
"YYYYMMDD"（Y=年、M=月、D=日）

画面にエラー表示「SD-F」が出た場合、SDメモリーカードに十分なスペースがないことを示します。1GBのSDメモリーカードに約30,000回の測定結果（身長体組成計）を保存することができます。

・データ保存中や読み込み中に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜かないでください。

お知らせ

・SDメモリーカードに記録されたデータの破損、消失については、故障や損害の内容、原因に関わらず当社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

パソコンと接続するとき

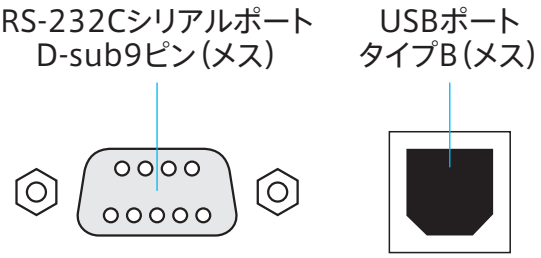
測定データは、受信側（パソコンなど）の状態にかかわらず測定直後に送信されます。このため測定以前に受信側が、常に受信可能な状態になっている必要があります。
詳しくは、別紙「シリアル出力説明書」をタニタホームページ（https://www.tanita.co.jp/）よりダウンロードしてご確認ください。
DC-217A／TBF-215互換モードに設定すると、既存の通信形式を継続してご使用できます（☞P.18）。

PCモードを使用すると、パソコン側より個人データを送信し、測定結果を受信することができます。
PCモードを使用する場合は、別紙「PCモード説明書」をタニタホームページ（https://www.tanita.co.jp/）からダウンロードしてご確認ください。

通信仕様

通 信 規 格	EIA RS-232C準拠
通 信 方 式	調歩同期式
信 号 速 度	9600bps
データビット長	8ビット
パ リ テ ィ	なし（NONE）
ストップビット	1ビット
フ ロ ー 制 御	なし

・コントローラーの背面にRS-232Cシリアルポート：D-sub9ピン（メス）とUSBポート：タイプB（メス）が付いています。



・パソコンと接続する場合は、それぞれに合わせたケーブルで接続してください。

・ケーブルは付属しておりませんので、別途お買い求めください。
RS-232C　：ストレート　D-sub9ピン（オス）-D-sub9ピン（メス）
USB　：タイプA（オス）-タイプB（メス）
※2.0規格に対応

・USBポートより通信する場合は、ご使用のパソコンによってはUSBドライバーのインストールが必要となることがあります。
USBドライバーは、タニタホームページ（https://www.tanita.co.jp/）よりダウンロードできます。

お知らせ

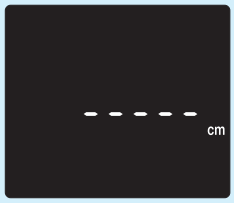
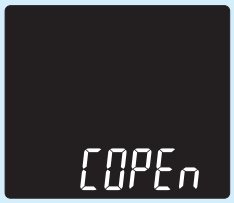
RS-232CシリアルポートとUSBポートは同時に使用できません。

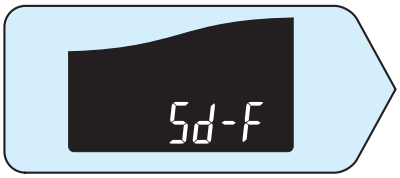
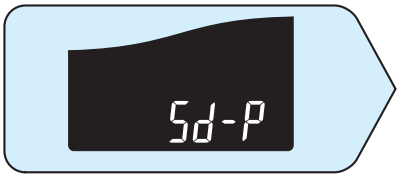
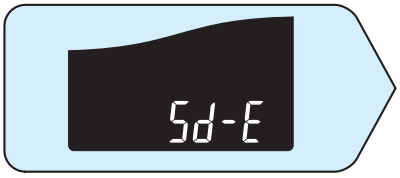
故障かな？

修理を依頼される前にご確認ください。

症　状		ご確認ください
はかりかた	インピーダンス測定エラー 	・素足になり、正しく電極に合わせて乗ってください。 ・つま先側とかかと側の電極に均等に乗ってください。 ・設定の入力内容、または測定前の入力内容を確認してください。
	ゼロ点異常 	・測定の準備ができていません。StEPon が表示されるまでお待ちください。 ・電源を入れる前に測定台に物を載せていませんか？一度電源を切り、載っている物を降ろしてから電源を入れ直してください。
	体重値が安定しない	・振動がある場所に設置していませんか？ ・測定台がかたむいていませんか？水平にしてください（☞ P.10）。 ・測定台の隙間に物がはさまっていませんか？はさまっている物を取り除いてください。
表示部	電源を入れても何も表示しない	・電源が正しく接続されているか確認してください。
	 が表示される	・測定する重量が、測定範囲をこえています。
	 が表示される	・測定台とコントローラーが正しく接続されているか確認してください。
	「%　BMI　」が点滅表示される	・測定姿勢が正しくない可能性があります。結果は参考値としてご使用ください（☞ P.5）。 ・足の裏が乾燥している可能性があります。水などでぬらしてから再度測定してください。

故障かな？（つづき）

	症　状	ご確認ください
身長計	上部支柱が伸縮できない	・位置確認窓から位置検出スイッチを細い棒状のもので軽く押し込みながらスライドしてください。
	が表示される	・上部支柱の位置がずれています。 下部支柱の位置確認窓を確認し、支柱ロックねじを取り付けてください（☞ P.11）。
	が表示される	・測定範囲の下限を下回っています。 カーソルを上方に動かしてください。
プリンター	プリンター用紙紙切れ 	・プリンター用紙が入っていません。 用紙を補給してください（☞ P.12）。 プリンターを使用しない場合は、CE を押し、プリント枚数の設定をやり直してください（☞ P.15）。
	プリンターカバーオープン 	・プリンターカバーが開いています。 きちんと閉じてください（☞ P.12）。 プリンター用紙が斜めになっていないかご確認ください。
	プリンター用紙が出ない	・プリント枚数の設定が0になっていませんか？ 1～3を選択してください（☞ P.15）。 ・プリンターが故障している可能性があります。 お買い求め先にご連絡ください。
	プリンター用紙は出るが、印字されない	・プリンター用紙が裏になっていませんか？ 正しくセットしてください（☞ P.12）。 ・プリンターが故障している可能性があります。 お買い求め先にご連絡ください。

症　状		ご確認ください
SD メモリーカード		・SDメモリーカードの容量が不足しています。 SDメモリーカード内のデータを移動・削除してください。 ・SDメモリーカードの残容量が十分にあることを確認してご使用ください。
		・SDメモリーカードがライトプロテクトされています。 SDメモリーカードのプロテクト（ロック）を解除してください。
		・SDメモリーカードが故障しています。 新しいSDメモリーカードに交換してください。

お知らせ

前記以外のエラー表示が出た場合は、一度電源を切り、再度測定してください。
何度も同じエラー表示が出る場合は弊社お客様サービス相談室（裏表紙参照）までご連絡ください。

重力補正について

お願い

本機は地球の重力差を補正し使用地域にあわせて正しい測定結果が得られるように調整されています。
本機に貼ってある「重力加速度シール」の番号で示される地域以外ではご使用にならないでください。
（正確にはかるために、重力加速度の記載は計量法に定められています）
引っ越しなどにより、使用できる地域以外に移動する場合は、お買い求め先にご連絡ください。

使用地域番号	使用できる地域	重力加速度（m/s^2）
(1)	釧路市、北見市、網走市、留萌市、稚内市、紋別市、根室市、宗谷総合振興局管内、留萌振興局管内、オホーツク総合振興局管内、根室振興局管内、釧路総合振興局管内	9.804～9.807
(2)	札幌市、小樽市、旭川市、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、士別市、名寄市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、恵庭市、石狩市、北広島市、石狩振興局管内、後志総合振興局管内、上川総合振興局管内、空知総合振興局管内	9.804～9.806
(3)	函館市、室蘭市、帯広市、苫小牧市、登別市、伊達市、北斗市、渡島総合振興局管内、檜山振興局管内、胆振総合振興局管内、日高振興局管内、十勝総合振興局管内	9.803～9.806
(4)	青森県	9.802～9.804
(5)	岩手県、秋田県	9.800～9.804
(6)	宮城県、山形県	9.799～9.802
(7)	福島県、茨城県、新潟県	9.798～9.801
(8)	栃木県、富山県、石川県	9.797～9.800
(9)	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都（八丈支庁管内、小笠原支庁管内を除く）、福井県、京都府、鳥取県、島根県	9.796～9.799
(10)	神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県	9.795～9.798
(11)	東京都（八丈支庁管内に限る）、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県	9.794～9.797
(12)	熊本県、宮崎県	9.794～9.796
(13)	鹿児島県（奄美市、大島郡を除く）	9.794～9.797
(14)	東京都（小笠原支庁管内に限る）	9.794～9.795
(15)	鹿児島県（奄美市、大島郡に限る）	9.791～9.794
(16)	沖縄県	9.789～9.792

仕様

名　称		BH-300A-N 手動身長計付き体組成計	
体重測定部	計量方式	電気抵抗線式はかり	
	精度等級	3級	
	ひょう量	200kg（風袋量を含む）	
	目量（最小表示）	0.1kg	
	プリセット風袋量(着衣量)	0.0～10.0kg（0.1kg単位）	
	測定範囲	2.0～200.0kg（0.1kg単位）	
身長測定部	読み取り方式	ドットコード	
	測定範囲	ロングモード	75.0～215.0cm（0.1cm単位）
		ショートモード	75.0～160.0cm（0.1cm単位）
	キー入力範囲	70.0～249.5cm（0.1cm単位）	
インピーダンス測定部	測定方式／判定基準	デュアル周波数BIA法	
	測定周波数	6.25kHz／50kHz	
	測定電流	90μA以下	
	電極材質	ステンレス	
	測定範囲	75.0～1,500.0Ω（0.1Ω単位）	

測定モード別　仕様

		身長体組成計モード	身長体重計モード	体重計モード
出力項目	身長（測定時）	75.0～215.0cm（0.1cm単位）		—
	体重	2.0～200.0kg（0.1kg単位）		
	体脂肪率	3.0～75.0%（0.1%単位）	—	—
	脂肪量	0.1kg単位	—	—
	除脂肪量	0.1kg単位	—	—
	筋肉量	0.1kg単位	—	—
	体水分量	0.1kg単位	—	—
	推定骨量※2	0.1kg単位	—	—
	基礎代謝量※2	0～9999kcal／日	—	—
	内臓脂肪レベル※2	1～59レベル（1レベル単位）	—	—
	脚点※2	50～150点（1点単位）	—	—
	BMI※2	0.1単位		—
	標準体重	0.1kg単位		—
	肥満度	0.1%単位	—	—
	判定／グラフ	体脂肪率／BMI／内臓脂肪／筋肉量／基礎代謝／脚点／体型判定	—	—
	体型判定※2	45段階	—	—
	インピーダンス	リアクタンス、レジスタンス	—	—
入力項目	ID	0～9999999999999999		
	体型	スタンダード／アスリート	—	—
	性別	男性／女性	—	—
	年齢	6～99歳	—	—
	プリセット風袋量(着衣量)	0.0～10.0kg（0.1kg単位）		
	身長※1	70.0～249.9cm (0.1cm単位)		—

※1　測定範囲外の方はキー入力することができます。
※2　17才以下の設定で測定した場合、この項目は印字されません。

その他仕様

外部インターフェース		RS-232Cポート(D-sub 9ピン)双方向／USBポート／SDメモリーカードスロット
印刷方式		内蔵サーマルプリンター
表示部		セグメントLCD
入力方式		メンブレンスイッチ
電源(ACアダプター)		100V AC (50／60Hz)
定格電圧(本体)		DC12V
消費電力(本体)		36W以下
使用環境		温度範囲　5～35℃
		湿度範囲　30～80%(結露なきこと)
保管環境		温度範囲　−10～60℃
		湿度範囲　10～90%(結露なきこと)
本体質量	測定台	14.3kg
	コントローラー	1.5kg
時計精度		平均月差　±1分以内(23℃±5℃)

※デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。
※SD、SDHC、SDXCおよびSDロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

必要なとき

MEMO

MEMO

アフターサービスについて

1、保証書について

保証書は、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年です。

2、修理を依頼されるとき

●保証期間中は、弊社お客様サービス相談室にご連絡のうえ、本機と保証書をお送りください。

●保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本機の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

3、ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

販売元　株式会社 タニタ

本社・お客様サービス相談室　〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

製造元　株式会社 タニタ 秋田

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス　https://www.tanita.co.jp/

お問い合わせ先

フリーダイヤル 0120-133821

携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-783551

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～17:00（祝日を除く月～金）

© 2019–2026 TANITA Corporation

BH3007601(3)-2610OF